

八街市国民健康保険
第2期データヘルス計画
中間評価

令和5年3月
八街市

第2期データヘルス計画中間評価 目次

序章 第2期データヘルス計画 中間評価について

1. 第2期データヘルス計画策定背景	3
2. 第2期データヘルス計画策定・評価基本方針	3
3. 第2期データヘルス計画中間評価趣旨及び期間	4
4. 第2期データヘルス計画の位置づけ	4
5. 実施体制及び関係者との連携	5
6. 計画の公表・周知	5
7. 第2期データヘルス計画中間評価の分析使用データについて	5
8. 個人情報の保護	5

第1章 八街市の現状

1. 八街市の特性	6
-----------	---

第2章 八街市国民健康保険・健康・医療情報の現状と分析

1. 国保加入状況	14
2. 医療費の分析	16
3. 特定健康診査の分析	24
4. 保健事業実施に係る分析結果	29

第3章 第2期データヘルス計画中間評価

1. 進捗・前期評価	39
2. 分析による課題及び計画の見直し	43

自治会分析

1. 疾病大分類による疾病別医療費自治会別統計	49
2. 疾病中分類による疾病別医療費自治会別統計	59

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	69
2. 用語解説集	70
3. 疾病分類表(2013年版)	72
4. 糖尿病性腎症・CKD重症化予防 対象者抽出フロー図	76

序章 第2期データヘルス計画 中間評価について

1. 第2期データヘルス計画策定背景

近年、特定健康診査(以下「特定健診」という。)の実施や診療報酬明細書等(以下「レセプト等」という。)の電子化の進展、国保データベースシステム(以下「KDBシステム」という。)等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うことができるようになりました。

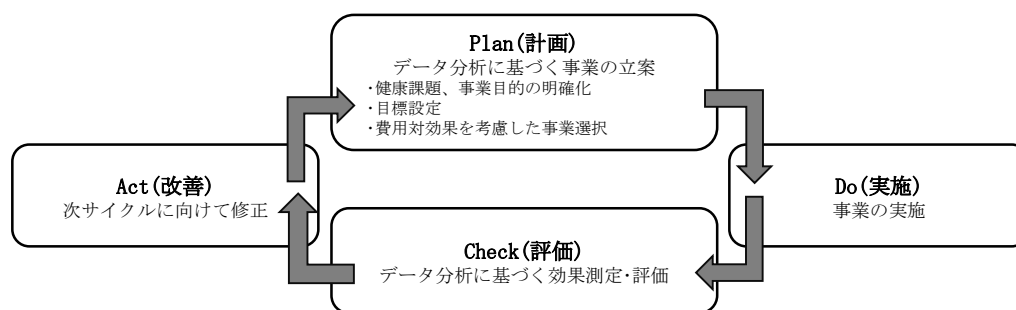
こうした中、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として『データヘルス計画』の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされました。

これまで、保険者においては、レセプトや統計資料等を活用することにより、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきたところではありますが、今後は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、ポピュレーションアプローチのみならず被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞って保健事業を展開するリスクアプローチを進めていくことが求められています。

こうした背景を踏まえ、厚生労働大臣が定める「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」(平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。)の一部改正に基づき、健康・医療情報を活用してPDCAサイクル(計画・実施・評価・改善)に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図る保健事業実施計画(以下「データヘルス計画」という。)を策定し、第2期データヘルス計画は、平成30年度から令和5年度までの6年間で計画期間として平成29年度に策定しました。

2. 第2期データヘルス計画策定・評価基本方針

1. 潜在する課題を確認するため、疾病毎の医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

3. 目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととします。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。

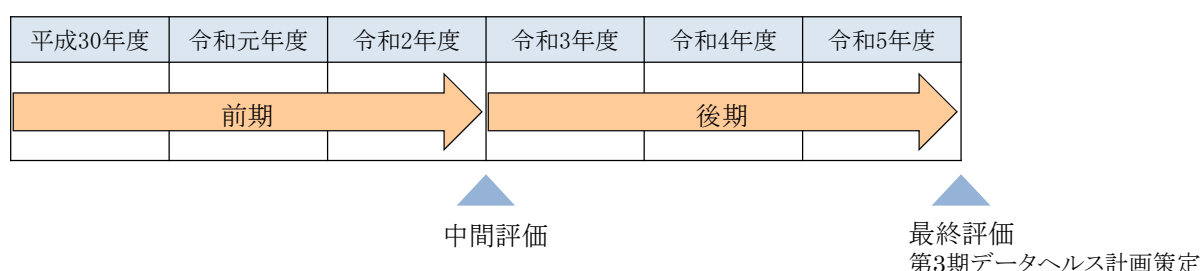
4. 最終年度となる令和5年度は、上半期に目標の達成を踏まえた仮評価を実施し、次期計画の策定につなげていきます。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとします。

3. 第2期データヘルス計画中間評価趣旨及び期間

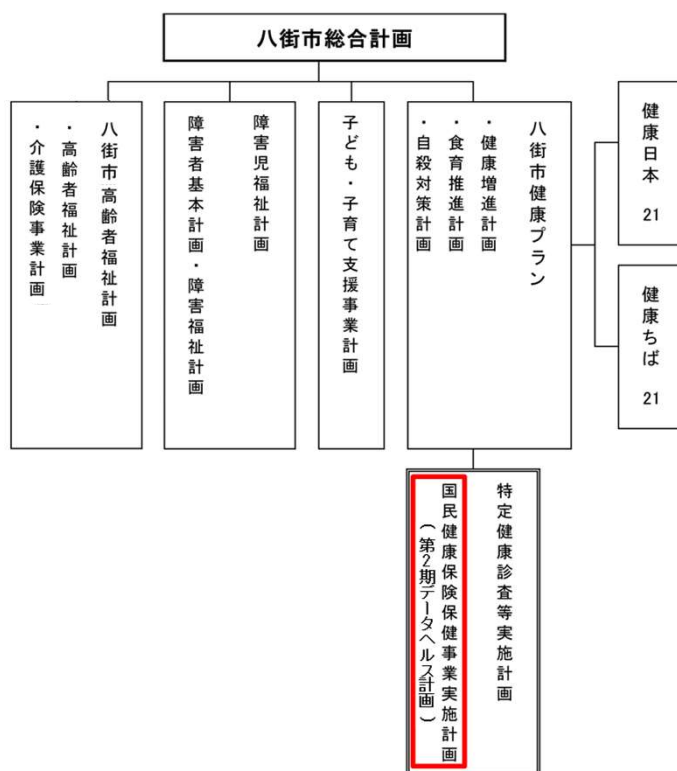
中間評価は、平成30年度から令和2年度までの3年間の個別保険事業の実績を評価し、データ分析をもとに後期3年間(令和3～5年度)の課題、改善方法を検討し、計画・実施事業の見直しを行うものです。

なお、期間は平成30年度から令和5年度までとします。



4. 第2期データヘルス計画の位置づけ

21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21(第2次)」に示された基本方針を踏まえ、「健康ちば21(第2次)」「八街市健康プラン」や「千葉県医療費適正化計画」との整合性を図るとともに、「八街市高齢者福祉計画」との調和を図ります。



5. 実施体制及び関係者との連携

本計画の策定及び評価、計画の見直しについては、八街市国民健康保険運営協議会等に意見を求めるとともに、ヘルス部門や福祉部門の担当課、保健医療関係機関及び被保険者と連携を図るものとします。

6. 計画の公表・周知

本中間評価は、市のホームページで公表します。

7. 第2期データヘルス計画中間評価の分析使用データについて

「KDBシステムデータ」

平成30年度～令和2年度(3年分)

「入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト」

単年分析

令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)

年度分析

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)

令和元年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

令和2年度… 令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)

「特定健診データ」

単年分析

令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)

令和元年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

令和2年度… 令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

8. 個人情報の保護

本計画の個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律を踏まえた対応を行うとともに、八街市個人情報保護条例を遵守します。

また、保健事業に関する業務を外部委託する場合についても同様の取り扱いとするとともに、業務によって知り得た情報については守秘義務を徹底し、業務終了後も同様とします。

第1章 八街市の現状

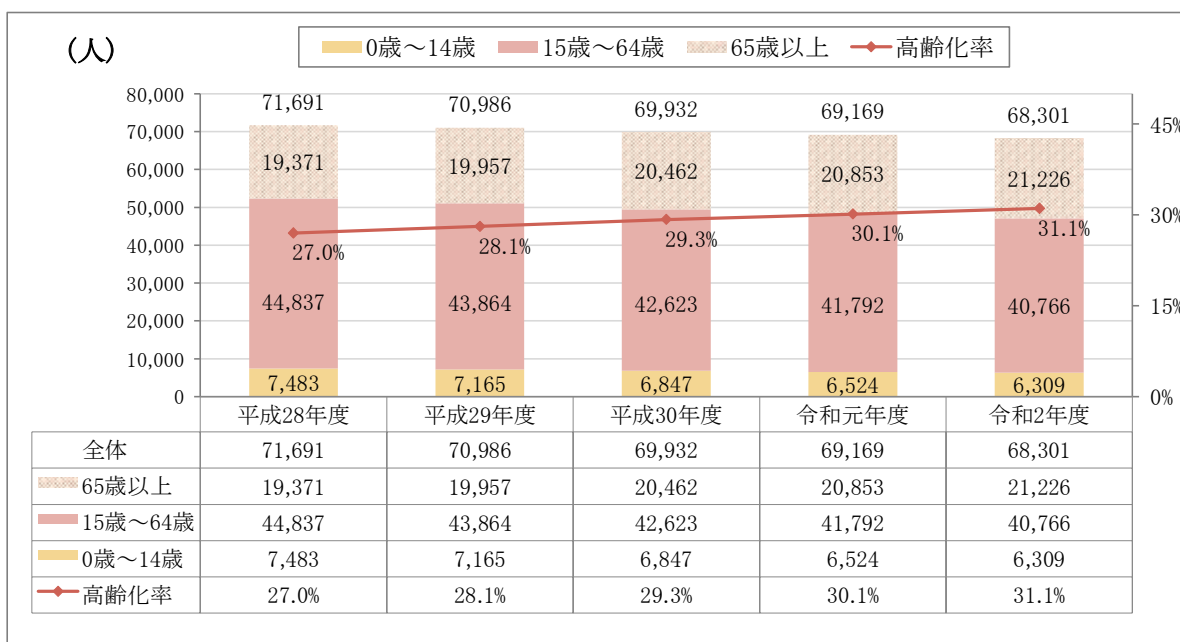
1. 八街市の特性

(1) 人口構成概要

令和2年度における本市の総人口は68,301人であり、平成28年度計画策定時の71,691人から3,390人減り減少傾向にあります。年齢構成では65歳以上は21,226人と平成28年度から1,855人増加している一方で、0歳～14歳は1,174人、15歳～64歳は4,071人減少しています。

高齢化率は平成28年度の27.0%から令和2年度31.1%と4.1%上昇しており、高齢化が進んでいます。

八街市の人口及び年齢別構成比の推移

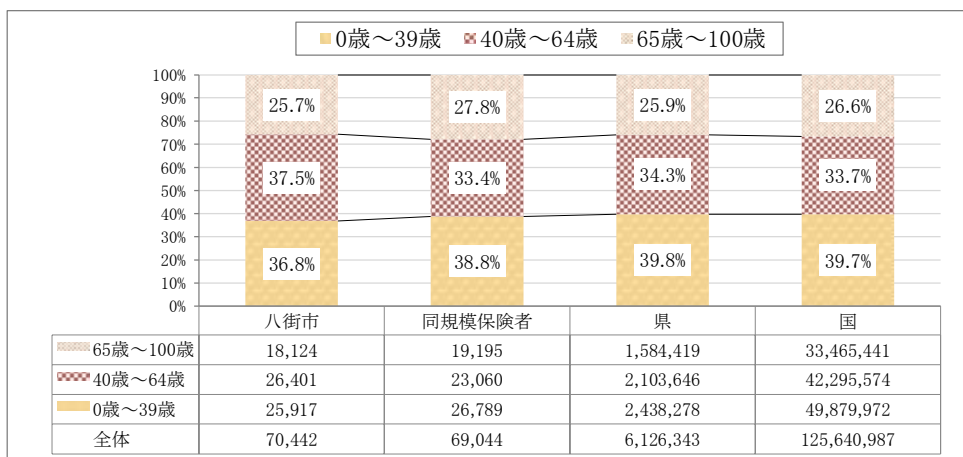


出典：八街市統計情報

高齢化率 (%) : $\frac{65歳以上人口}{人口全体} \times 100$

KDBシステムによる年齢別人口構成の比較では、国・県・同規模保険者が40歳～64歳の割合よりも0歳～39歳の割合が高いのに対し、本市は逆に0歳～39歳の割合が低い状況です。

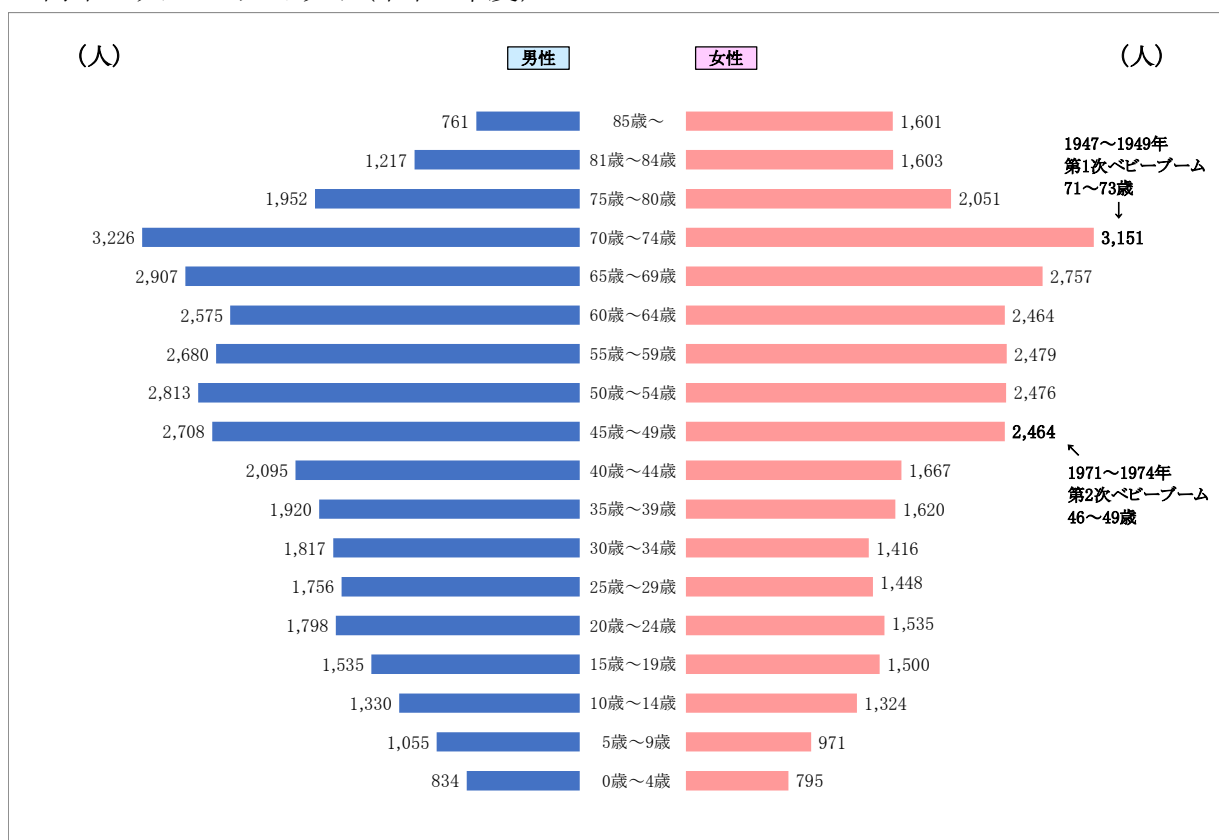
年齢別人口構成の比較(令和2年度)



出典：KDBシステム「地域の全体像の把握」

令和2年度における人口ピラミッドからは、70歳～74歳を頂点とした高齢者人口が多く、今後、健康寿命の延伸とともに75歳以上の後期高齢者が増加する状況です。

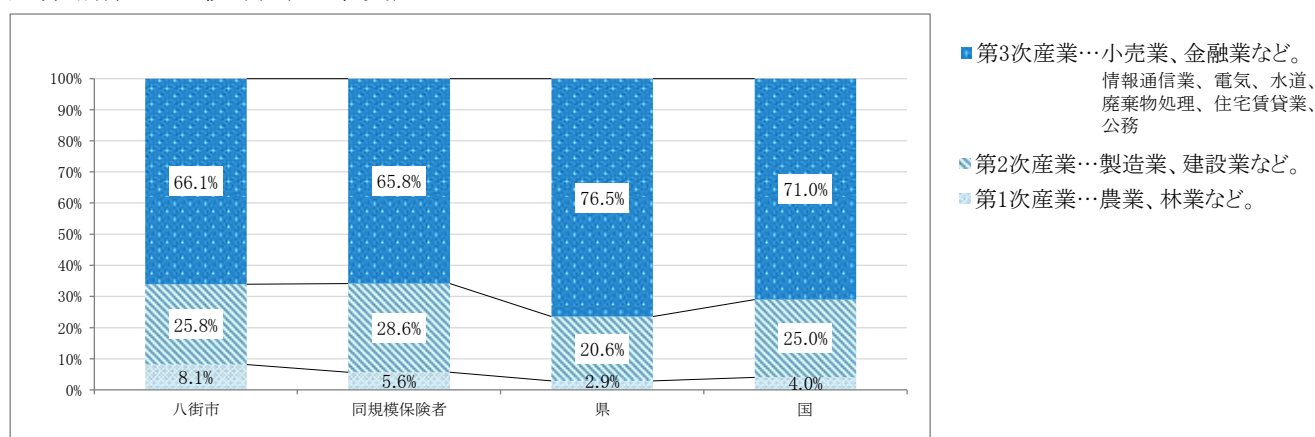
八街市の人口ピラミッド(令和2年度)



出典: 八街市統計情報

産業構成では、第1次産業が8.1%と国・県・同規模保険者と比べて2.5%～5.2%高く、第2次産業では同規模保険者を除くと0.8%～5.2%高い反面、第3次産業においては同規模保険者を除くと4.9%～10.4%低い状況となっています。

産業構成の比較(令和2年度)

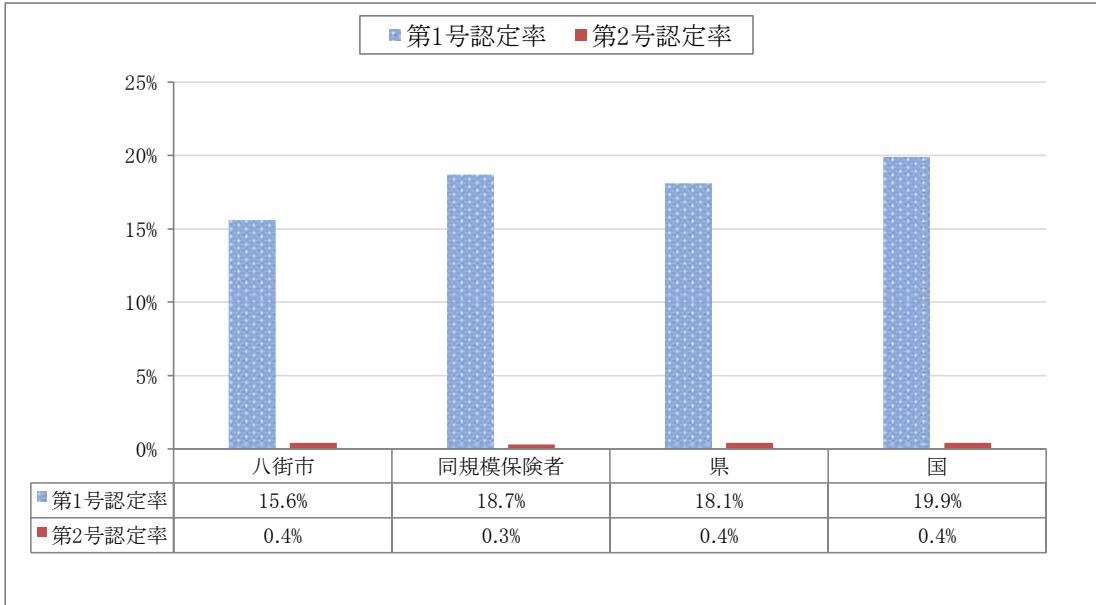


出典: KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 介護保険の状況

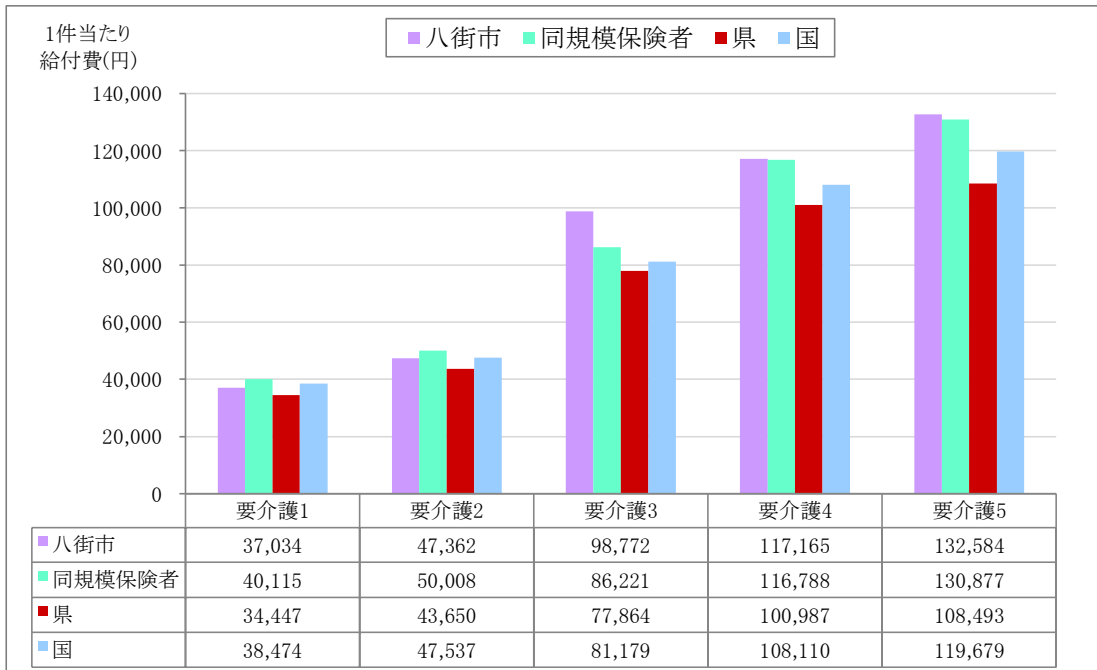
本市の介護保険の認定率は国・県・同規模保険者と比べると低いものの、1件当たりの給付費で比べると、要介護1及び要介護2はほぼ同水準、要介護3、要介護4、要介護5では高い状況にあります。

認定率の比較(令和2年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

1件当たり要介護度別給付費の比較(令和2年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

平成30年度から令和2年度における認定率及び認定者数は、国・県・同規模保険者よりも低い状況ですが、平成30年度から令和2年度の認定率の推移をみると、国・同規模保険者よりも上昇度合いが高いことに注意が必要です。

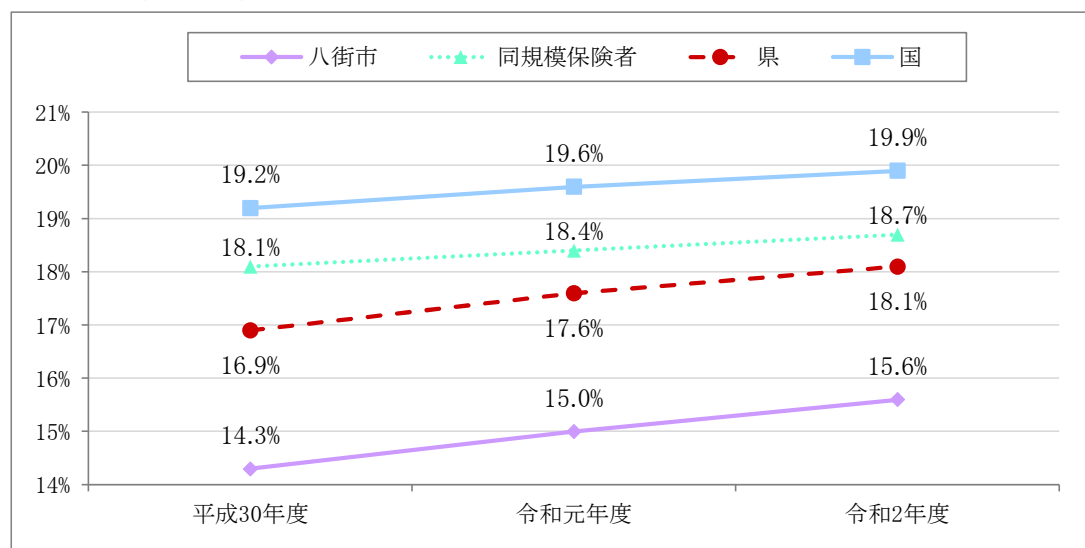
年度別 認定率及び認定者数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	H30→R2	
八街市	認定率(%)	14.3	15.0	15.6	1.3	
	認定者数(人)	計	2,741	2,915	3,000	259
		第1号	2,627	2,792	2,882	255
		第2号	114	123	118	4
同規模 保険者	認定率(%)	18.1	18.4	18.7	0.6	
	認定者数(人)	計	925,059	933,707	941,278	16,219
		第1号	903,977	913,126	920,787	16,810
		第2号	21,082	20,581	20,491	-591
県	認定率(%)	16.9	17.6	18.1	1.2	
	認定者数(人)	計	280,374	294,633	300,689	20,315
		第1号	272,187	286,207	292,128	19,941
		第2号	8,187	8,426	8,561	374
国	認定率(%)	19.2	19.6	19.9	0.7	
	認定者数(人)	計	6,482,704	6,620,276	6,750,178	267,474
		第1号	6,329,312	6,467,463	6,595,095	265,783
		第2号	153,392	152,813	155,083	1,691

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

$$\text{認定率(\%)} = \frac{\text{認定数}}{\text{第1号被保険者数}} \times 100$$

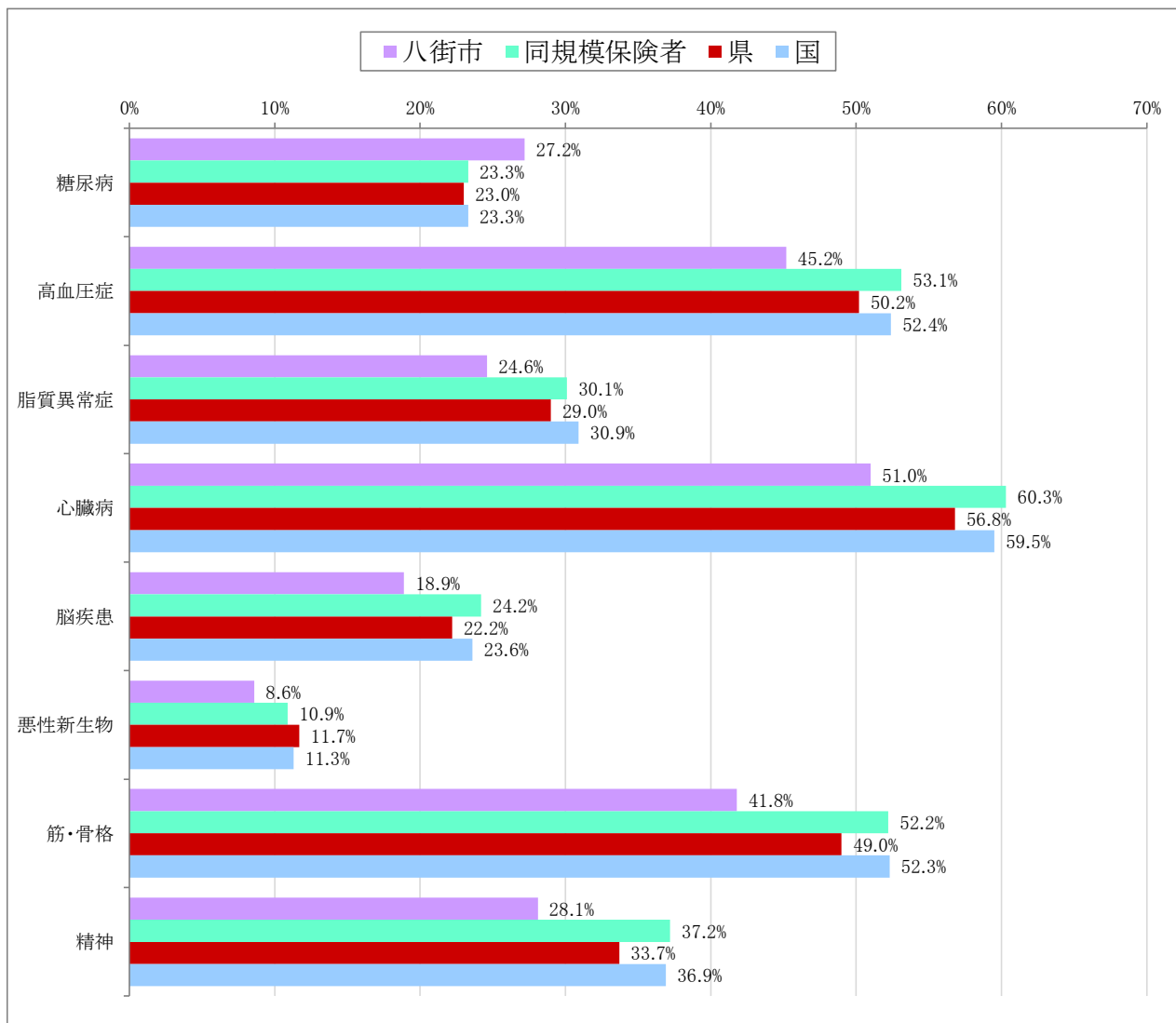
認定率の経年比較



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

本市の要介護認定者の有病状況は、ほとんどの疾病で、国・県・同規模保険者よりも低い状況にありますが、糖尿病の有病率は高く、要介護認定者の4人に1人が糖尿病疾患を有していることから、今後も糖尿病性腎症重症化予防は重要な課題です。

認定者の疾病別有病率の比較(令和2年度)



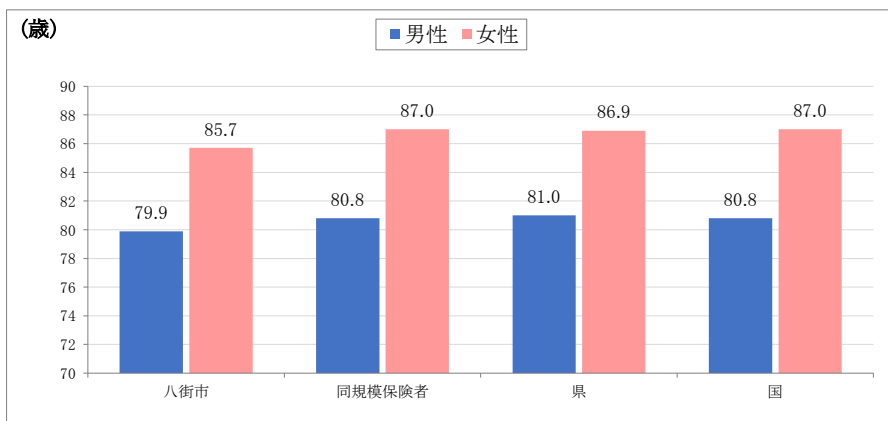
出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

(3) 寿命と死因の状況

令和2年度の平均寿命は、男性は国・県・同規模保険者より0.9歳～1.1歳短く、女性は1.2歳～1.3歳短くなっています。平均自立期間(要介護2以上)もほぼ同じ傾向です。

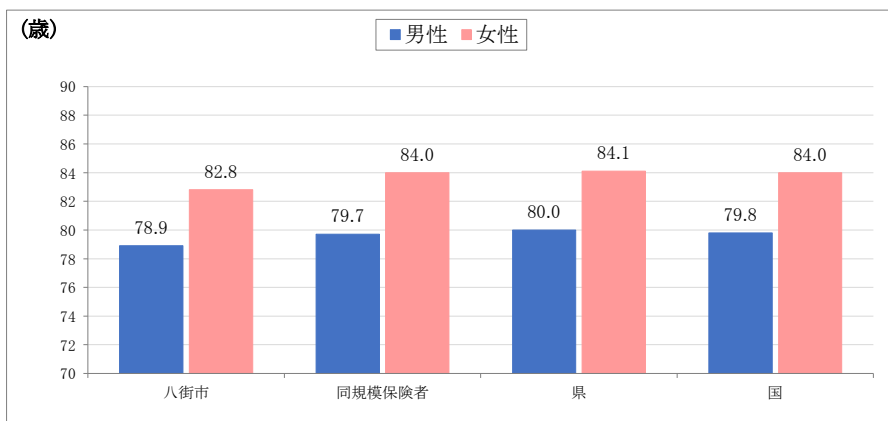
平成30年度から令和2年度の平均自立期間を比較すると、男女ともに0.6歳長い状況です。

平均寿命の比較(令和2年度)

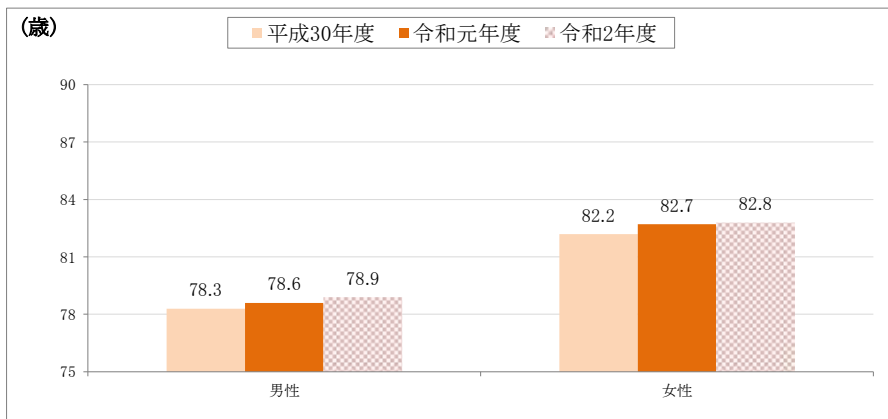


出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

平均自立期間(要介護2以上)の比較(令和2年度)



男女別 八街市の平均自立期間(要介護2以上)の推移



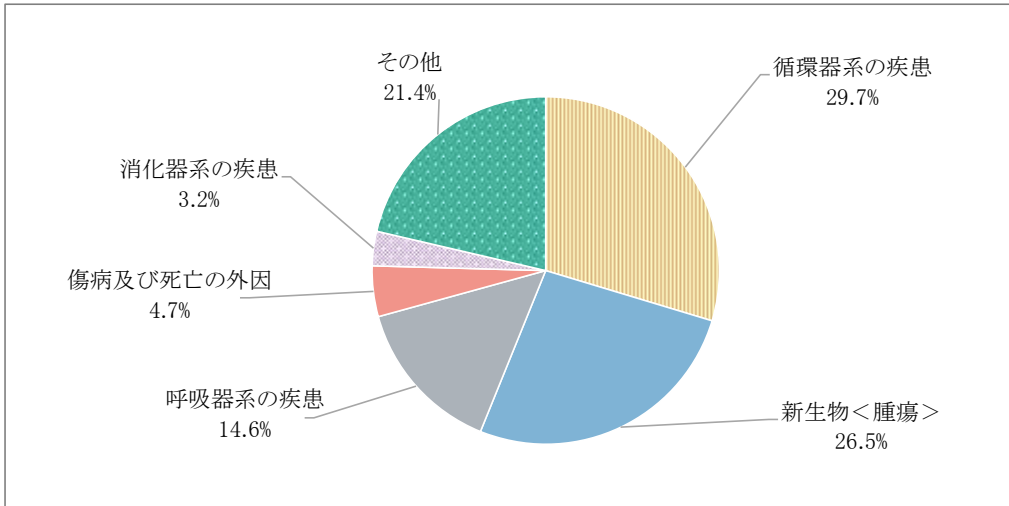
平均自立期間…日常生活動作が自立している期間の平均。

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

令和2年度の死因割合は、「循環器系の疾患」、「新生物<腫瘍>」、「その他」、「呼吸器系の疾患」の順に高く、それぞれ29.7%、26.5%、21.4%、14.6%です。

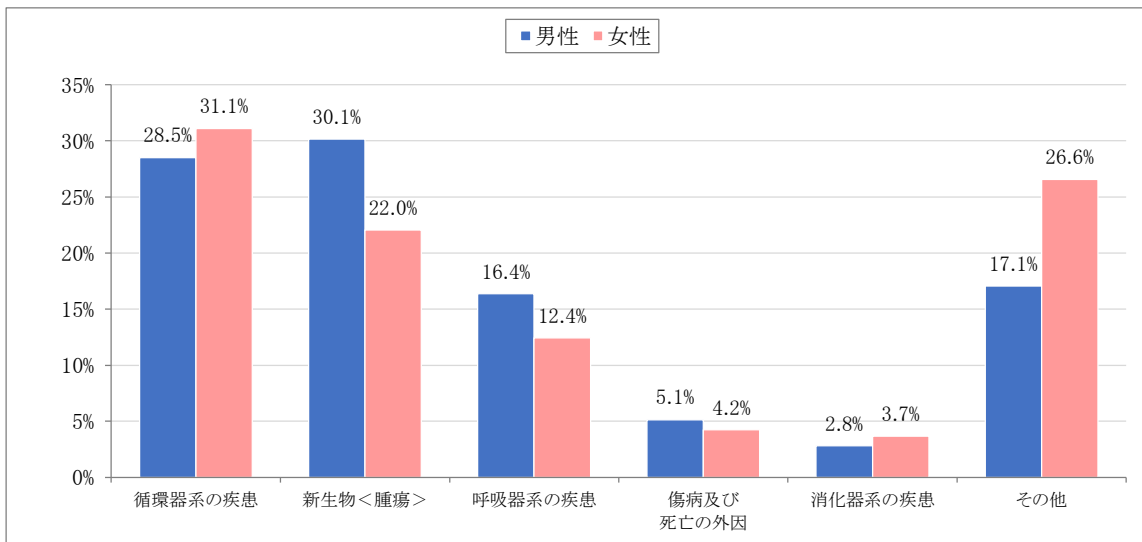
男性は「新生物<腫瘍>」が30.1%、女性は「循環器系の疾患」が31.1%であり最も高く、男性においても「循環器系の疾患」は28.5%であり、2番目に高い状況です。

八街市の死因の傾向(令和2年度)



出典: 千葉県衛生統計年報

男女別 八街市の死因の傾向(令和2年度)

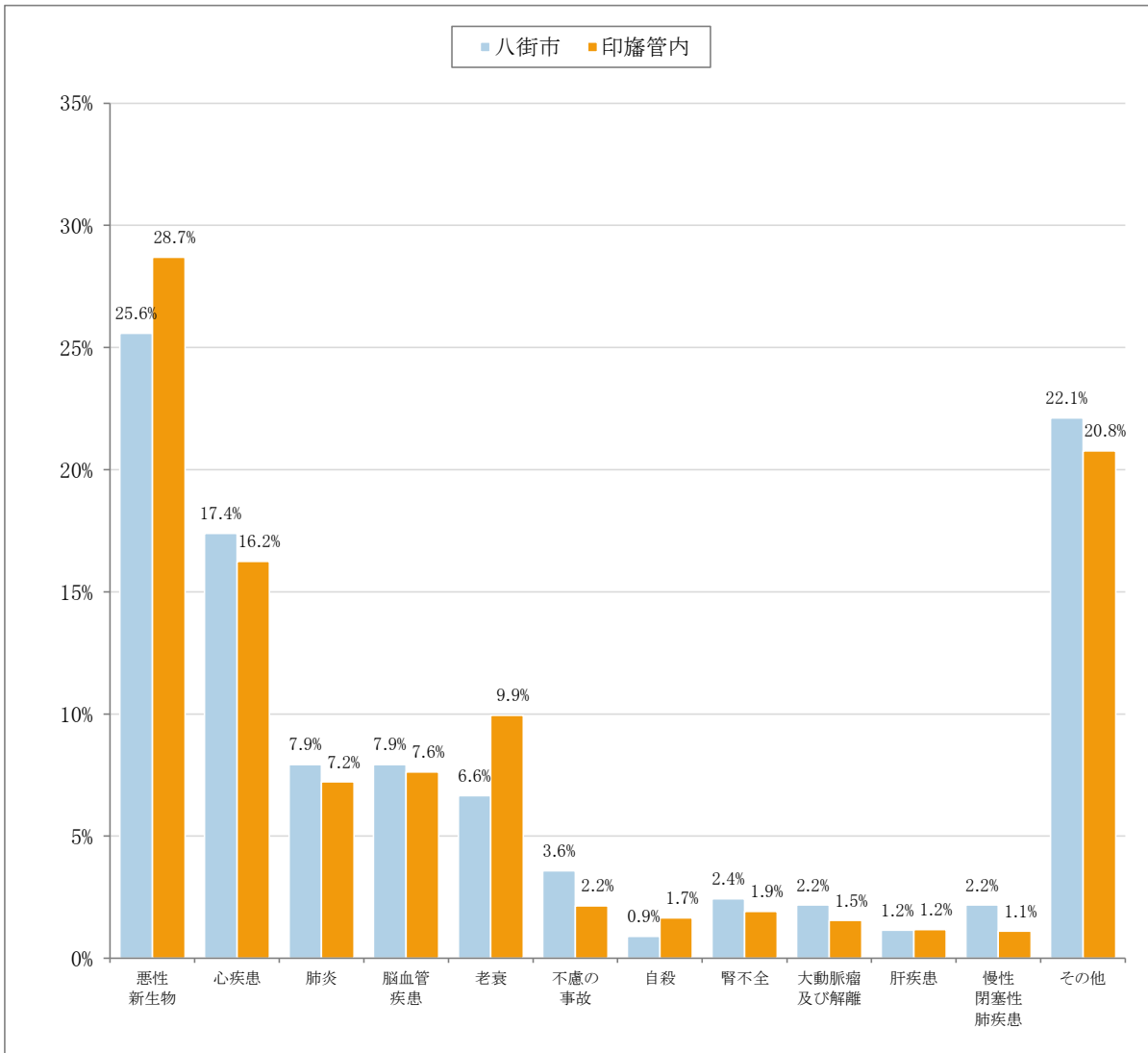


出典: 千葉県衛生統計年報

令和2年度における疾病別死亡原因割合を印旛管内と比べると、本市で最も高い死亡原因は「悪性新生物」で25.6%を占め、次いで「その他」、「心疾患」、「肺炎」、「脳血管疾患」が高い割合を占めています。

また、本市で最も低い死亡原因は「自殺」で、次いで「肝疾患」という状況です。

死亡原因の疾病別構成割合の比較(令和2年度)



出典:千葉県衛生統計年報

また、死亡原因割合について印旛管内と比べると、以下の状況です。

八街市の方が割合が高い死亡原因…「不慮の事故」「その他」「心疾患」「慢性閉塞性肺疾患」「肺炎」「大動脈瘤及び解離」「腎不全」「脳血管疾患」

八街市の方が割合が低い死亡原因…「老衰」「悪性新生物」「自殺」

死亡原因割合の印旛管内との比較

	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰	不慮の事故	自殺	腎不全	大動脈瘤及び解離	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	その他
八街市の方が高い		1.2%	0.7%	0.3%		1.4%		0.5%	0.7%	0.0%	1.1%	1.3%
八街市の方が低い	-3.1%				-3.3%		-0.8%					

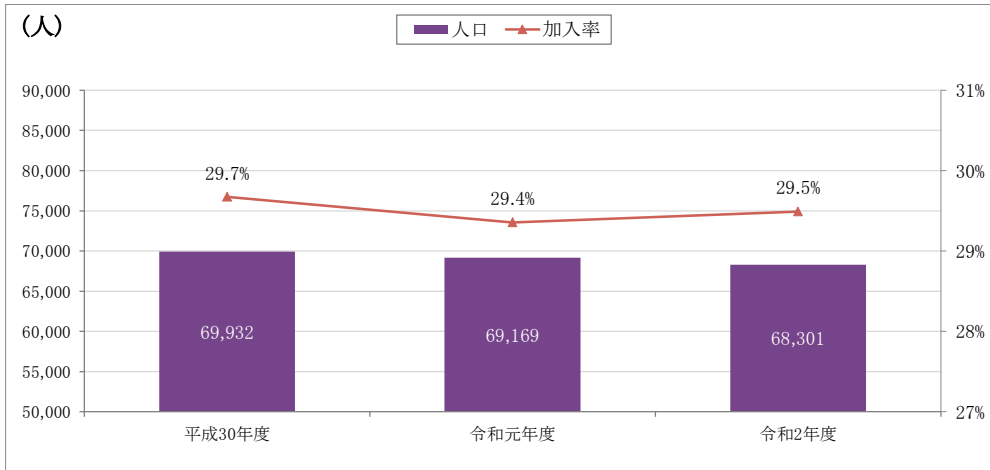
第2章 八街市国民健康保険・健康・医療情報の現状と分析

1. 国保加入状況

(1) 国保加入者の概要

本市の人口が微減傾向にある中、国保加入率は29%台半ばで推移しています。

八街市の人口と国保加入率の推移

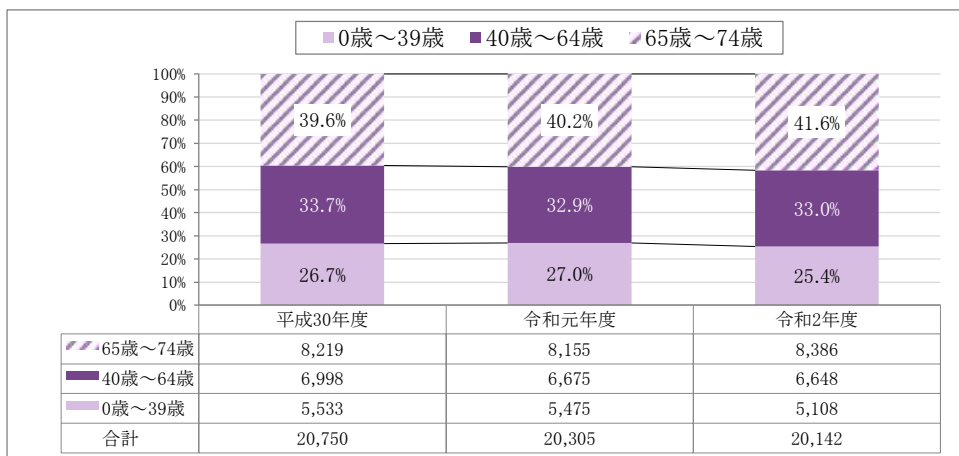


出典:八街市統計情報、KDBシステム「地域の全体像の把握」

$$\text{加入率 (\%)} = \frac{\text{被保険者数}}{\text{人口}} \times 100$$

年齢構成では平成30年度から令和2年度にかけて被保険者が減少する中、65歳～74歳は8,386人と167人増加、構成割合でも2%増加しており、高齢化が進んでいます。

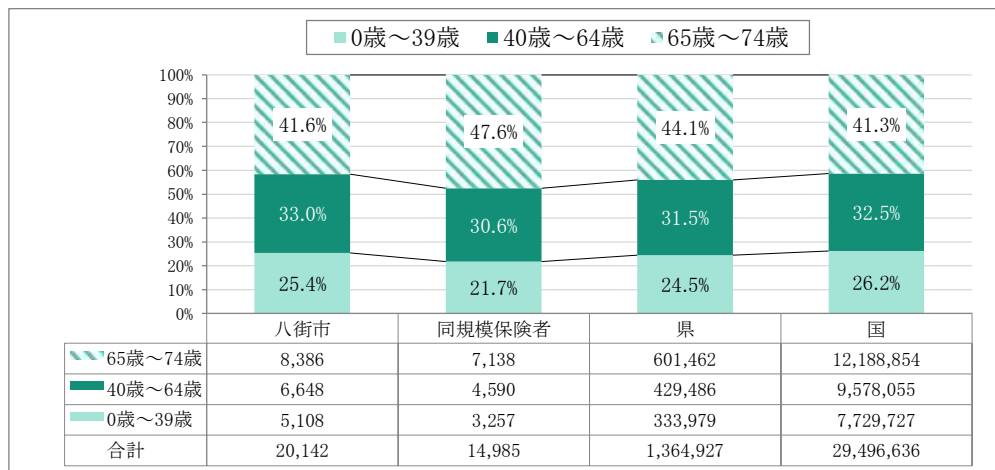
八街市の国保加入者の年齢構成の推移



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

令和2年度における国保加入者の年齢構成の比較では県・同規模保険者と比べて、65歳以上は低い一方、0歳～39歳、40歳～64歳の割合は高い状況です。

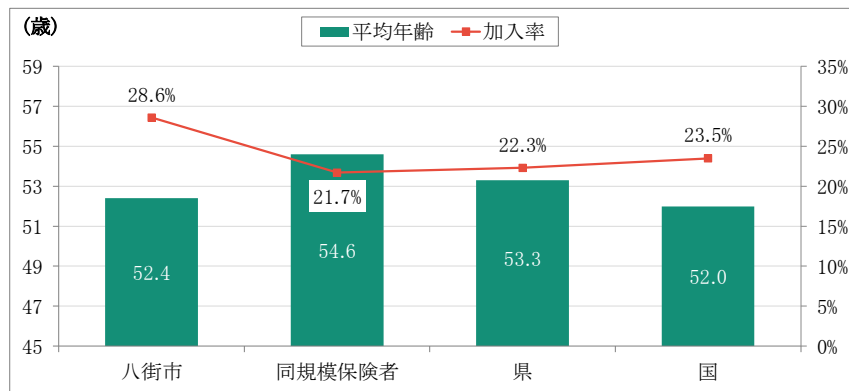
国保加入者の年齢構成の比較(令和2年度)



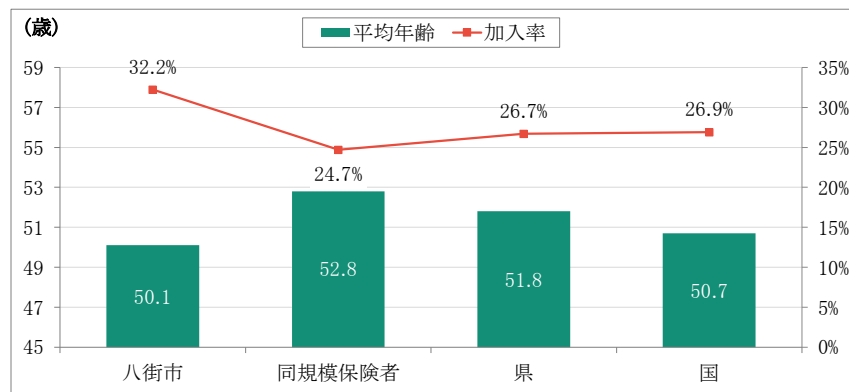
出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

国保加入者の平均年齢の比較では、本市の平均年齢は52.4歳と計画策定時(平成28年度)より2.3歳上昇しています。県・同規模保険者より低い状況を維持していますが、上昇幅が大きくなっています。

国保加入者の平均年齢と加入率の比較(令和2年度)



国保加入者の平均年齢と加入率の比較(平成28年度)



出典:KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

2. 医療費の分析

(1) 基礎統計

当医療費統計は、平成30年度から令和2年度におけるレセプトデータを対象とし年度別に分析します。

令和2年度を平成30年度と比較すると、1カ月平均の被保険者数、医療費、1カ月平均の患者数、有病率はいずれも減少しています。一方、患者1人当たり医療費は増加しています。

年度別 基礎統計

	平成30年度 ①	令和元年度 ②	令和2年度 ③	H30→R2増減	
				増減 ③-①	増減率 ③/①
A 1カ月平均の被保険者数(人)	20,479	19,784	19,723	-756	-3.7%
B 医療費(千円) ※	6,233,434	6,263,080	6,156,222	-77,212	-1.2%
C 1カ月平均の患者数(人) ※	9,665	9,154	8,552	-1,113	-11.5%
B/C 患者1人当たり医療費(円)	644,921	684,178	719,879	74,958	11.6%
C/A 有病率(%)	47.2	46.3	43.4	-3.8	-8.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

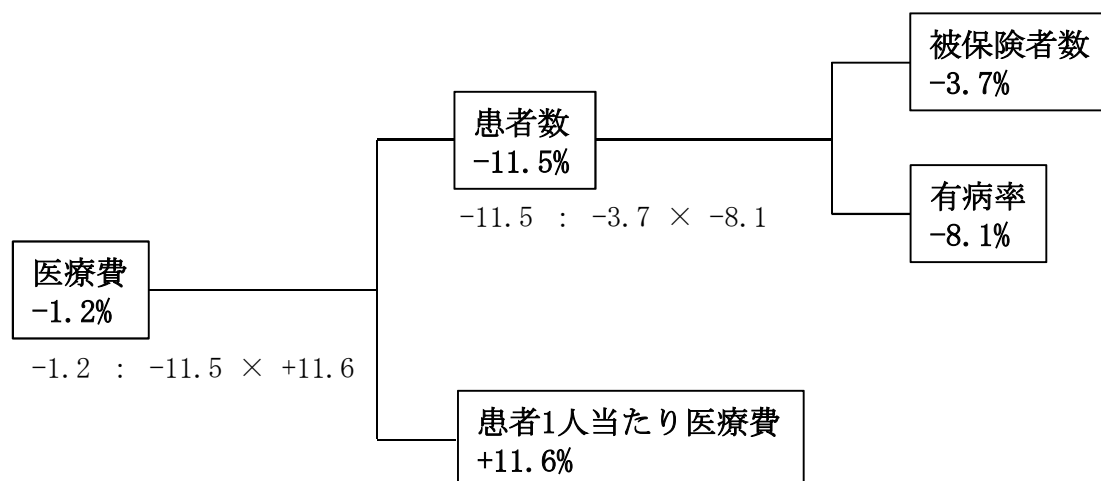
※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※1カ月平均の患者数…同診療年月で1人の方に複数のレセプトが発行された場合は1人として集計。

これらの指標を体系化して医療費の増減率を分解して見ると、平成30年度から令和2年度の医療費が1.2%減少している内訳は、患者数が11.5%減少している一方、患者1人当たり医療費が11.6%増加したことによります。また、患者数減少は、被保険者数減少の影響(3.7%減少)よりも有病率の減少の影響(8.1%減少)が大きくなっています。

新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制と長期処方化の影響が見られます。

医療費増減率の内訳(平成30年度→令和2年度増減率)



$$\text{有病率(\%)} = \frac{\text{1カ月平均の患者数}}{\text{1カ月平均の被保険者数}} \times 100$$

(2) 医療費等の状況

本市の人口千人当たり外来患者数は、国・県・同規模保険者よりも少なく、入院患者数は国・同規模保険者よりも少ない状況です。

千人当たり受診状況(令和2年度)

医療項目	八街市 ①	同規模 保険者 ②	県 ③	国 ④	対同規模 保険者 ①-②	対県 ①-③	対国 ①-④
千人当たり							
外来患者数(人)	548.9	668.4	590.9	635.7	-119.5	-42.0	-86.8
入院患者数(人)	16.2	19.3	15.6	17.5	-3.1	0.6	-1.3
受診率(件)	565.0	687.7	606.5	653.2	-122.7	-41.5	-88.2

一方、1件当たり医療費は国より5,950円、県より4,810円、同規模保険者より5,360円高い状況です。

1件当たり医療費(令和2年度)

医療項目	八街市 ①	同規模 保険者 ②	県 ③	国 ④	対同規模 保険者 ①-②	対県 ①-③	対国 ①-④
1件当たり医療費(円)	45,190	39,830	40,380	39,240	5,360	4,810	5,950
一般(円)	45,190	39,830	40,380	39,240	5,360	4,810	5,950
退職(円)	9,930	33,060	70,350	61,460	-23,130	-60,420	-51,530

外来の医療費を比較すると、1件当たり医療費、1日当たり医療費が高くなっています。受診率が国・県・同規模保険者より低く、1件当たり医療費・1日当たり医療費が高いのは、複数の検査の実施、長期処方、他科受診等が考えられます。また、罹患初期に通院をせずに一定期間放置し、重症化してから通院したケースも懸念されます。

外来・入院別医療基礎情報(令和2年度)

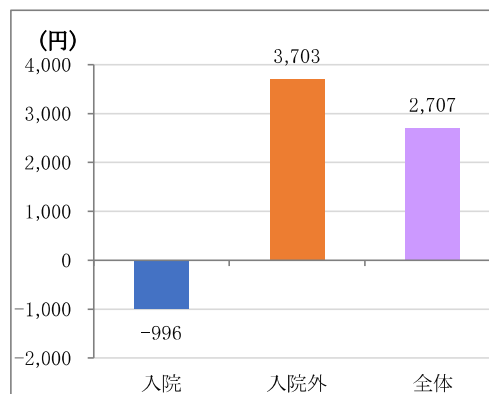
医療項目	八街市 ①	同規模 保険者 ②	県 ③	国 ④	対同規模 保険者 ①-②	対県 ①-③	対国 ①-④
外来							
外来費用の割合(%)	61.8	59.0	61.3	59.6	2.8	0.5	2.2
外来受診率(件)	548.9	668.4	590.9	635.7	-119.5	-42.0	-86.8
1件当たり医療費(円)	28,760	24,190	25,390	24,040	4,570	3,370	4,720
1人当たり医療費(円)	15,780	16,170	15,010	15,290	-390	770	490
1日当たり医療費(円)	18,980	16,280	17,130	16,070	2,700	1,850	2,910
1件当たり受診回数(回)	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0
入院							
入院費用の割合(%)	38.2	41.0	38.7	40.4	-2.8	-0.5	-2.2
入院率(件)	16.2	19.3	15.6	17.5	-3.1	0.6	-1.3
1件当たり医療費(円)	603,270	582,980	609,440	592,050	20,290	-6,170	11,220
1人当たり医療費(円)	9,750	11,230	9,480	10,340	-1,480	270	-590
1日当たり医療費(円)	38,990	35,080	39,050	36,770	3,910	-60	2,220
1件当たり在院日数(日)	15.5	16.6	15.6	16.1	-1.1	-0.1	-0.6

平成30年度と令和2年度の被保険者1人当たりの医療費を比較すると、入院では996円減少していますが、入院外では3,703円増加しており、全体でも2,707円増加しています。

年度別 被保険者1人当たりの医療費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院(円)	100,941	101,498	99,945
入院外(円)	160,364	167,062	164,067
全体(円)	261,305	268,560	264,012

平成30年度と令和2年度の被保険者1人当たりの医療費の増減

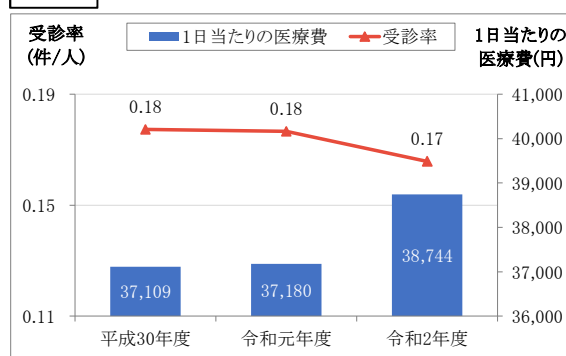


また、医療費の三要素を比較すると、入院・入院外ともに受診率は減少しており、1日当たりの医療費は増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあって、通院頻度が下がり、その代わりに一度の通院で様々な検査・投薬や複数科にまたがりまとめて受診していることなどが考えられます。

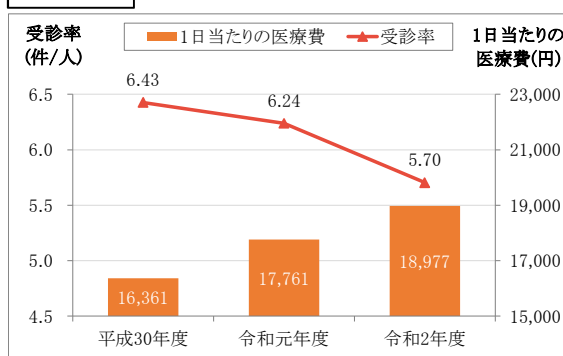
年度別 医療費の三要素

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	H30→R2
入院	受診率(件/人) ※	0.18	0.18	0.17	-0.01
	1件当たりの日数(日) ※	15.34	15.46	15.56	0.22
	1日当たりの医療費(円) ※	37,109	37,180	38,744	1,635
入院外	受診率(件/人) ※	6.43	6.24	5.70	-0.73
	1件当たりの日数(日) ※	1.52	1.51	1.52	0.00
	1日当たりの医療費(円) ※	16,361	17,761	18,977	2,616
全体	受診率(件/人) ※	6.60	6.41	5.87	-0.73
	1件当たりの日数(日) ※	1.90	1.89	1.91	0.01
	1日当たりの医療費(円) ※	20,869	22,129	23,520	2,651

入院



入院外



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

本分析における被保険者1人当たりの医療費は、各年度内の被保険者数を用いて算出している。年度別基礎統計の被保険者1人当たりの医療費は、各年度の1カ月平均の被保険者数を用いて算出しているため、本分析とは一致しない。

※受診率…被保険者1人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※1件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※1日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

(3)高額レセプトの件数及び医療費

①高額レセプトの件数及び割合

平成30年度から令和2年度に発生しているレセプトデータのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、集計しました。高額レセプトの集計結果を年度別に確認すると、令和2年度における高額レセプト件数は2,129件と平成30年度より185件増加しており、令和2年度における医療費は22億6千万円と約2億円増加しています。全体の件数の0.9%の高額レセプトで、医療費の36.7%を占めています。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	H30→R2 増減数	H30→R2 増減率
A	レセプト件数(件)	270,421	256,981	233,884	-36,537	-13.5%
B	高額レセプト件数(件)	1,944	2,089	2,129	185	9.5%
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7	0.8	0.9	0.2	-
C	医療費全体(円) ※	6,233,433,590	6,263,079,950	6,156,222,260	-77,211,330	-1.2%
D	高額レセプトの医療費(円) ※	2,062,276,190	2,168,660,420	2,260,944,530	198,668,340	9.6%
E	その他レセプトの医療費(円) ※	4,171,157,400	4,094,419,530	3,895,277,730	-275,879,670	-6.6%
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.1	34.6	36.7	3.6	-

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成30年度から令和2年度における高額レセプトの患者数上位5疾病を年度別に確認すると、全ての年度で、「その他の悪性新生物<腫瘍>」の患者数が最も多くなっています。

また、毎年上位にある患者1人当たりの医療費が500万円前後と高額である「腎不全」、令和元年度、令和2年度と上位にある手術等で医療費が高額となる大腿骨等「骨折」、医療技術を要するため高額となる「心疾患」等については、保健事業の課題です。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1位	疾病分類(中分類)	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の悪性新生物<腫瘍>	その他の悪性新生物<腫瘍>
	患者数(人) ※	88	74	83
	患者1人当たりの医療費(円) ※	3,223,267	3,465,094	4,050,379
2位	疾病分類(中分類)	その他の心疾患	その他の心疾患	骨折
	患者数(人) ※	55	46	50
	患者1人当たりの医療費(円) ※	3,617,905	3,465,154	2,262,989
3位	疾病分類(中分類)	腎不全	骨折	その他の心疾患
	患者数(人) ※	51	45	48
	患者1人当たりの医療費(円) ※	5,161,818	2,451,654	2,729,906
4位	疾病分類(中分類)	虚血性心疾患	腎不全	腎不全
	患者数(人) ※	39	44	46
	患者1人当たりの医療費(円) ※	2,405,588	4,960,714	5,078,721
5位	疾病分類(中分類)	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	虚血性心疾患
	患者数(人) ※	37	41	39
	患者1人当たりの医療費(円) ※	4,475,379	5,347,974	2,666,193

疾病分類(中分類)	傷病名(上位3疾病まで記載)
その他の悪性新生物 <腫瘍>	前立腺癌、胆のうがん、転移性脳腫瘍
その他の心疾患	うっ血性心不全、非弁膜症性心房細動、急性心不全
腎不全	慢性腎不全、末期腎不全、急性腎不全
虚血性心疾患	労作性狭心症、不安定狭心症、急性前壁心筋梗塞
気管、気管支炎及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌、肺腺癌、肺癌
骨折	大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折、上腕骨頸部骨折

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で疾病中分類毎に集計した。

※患者1人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者1人当たり医療費。

(4) 疾病別医療費

① 疾病分類による医療費統計

疾病大分類の医療費上位5疾病は、年度により順位に違いはありますが、「Ⅱ. 新生物<腫瘍>」「Ⅸ. 循環器系の疾患」「Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患」「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」「ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患」となっており、医療費の約6割を占めています。

年度別 疾病大分類による疾病別医療費統計 ※各年度毎に上位5疾病を 色付け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症	147,365,386	2.4	12	127,500,775	2.0	12	97,051,396	1.6	14
Ⅱ. 新生物<腫瘍>	904,192,267	14.5	2	985,309,023	15.8	1	959,483,963	15.6	1
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	65,977,382	1.1	15	95,615,633	1.5	15	94,438,484	1.5	15
Ⅳ. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	628,091,770	10.1	3	658,863,204	10.5	3	652,048,744	10.6	3
Ⅴ. 精神及び行動の障害	405,997,779	6.5	7	376,291,823	6.0	8	361,252,651	5.9	8
Ⅵ. 神経系の疾患	410,598,250	6.6	6	428,277,286	6.9	6	461,703,906	7.5	6
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	224,343,637	3.6	10	230,147,780	3.7	10	211,982,441	3.5	11
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	25,656,218	0.4	16	22,041,653	0.4	17	18,941,506	0.3	18
Ⅸ. 循環器系の疾患	953,708,978	15.3	1	903,305,834	14.5	2	919,576,377	15.0	2
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	382,817,002	6.2	9	352,420,415	5.6	9	287,260,317	4.7	9
ⅩⅠ. 消化器系の疾患 ※	395,632,251	6.4	8	393,698,443	6.3	7	396,738,941	6.5	7
ⅩⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	116,896,955	1.9	13	113,734,815	1.8	14	114,343,450	1.9	12
ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	542,776,471	8.7	5	539,903,598	8.6	5	511,600,396	8.3	5
ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	624,250,364	10.0	4	607,575,182	9.7	4	606,474,051	9.9	4
ⅩⅤ. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	16,767,894	0.3	19	20,387,010	0.3	18	13,942,504	0.2	20
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態 ※	12,069,420	0.2	20	38,502,320	0.6	16	29,080,335	0.5	17
ⅩⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常	21,716,718	0.3	17	6,440,706	0.1	20	10,807,853	0.2	21
ⅩⅧ. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	106,060,968	1.7	14	115,673,936	1.9	13	112,427,475	1.8	13
ⅩⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	214,687,917	3.5	11	214,622,745	3.4	11	230,355,745	3.7	10
ⅩⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	20,086,507	0.3	18	15,640,697	0.3	19	16,758,075	0.3	19
ⅩⅩⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0		0	0.0		36,366,679	0.6	16
分類外	217,386	0.0	21	1,062,462	0.0	21	405,081	0.0	22
合計	6,219,911,520			6,247,015,340			6,143,040,370		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…疾病大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※構成比(%)は小数点第一位まで表示。

平成30年度から令和2年度の疾病中分類による疾病別統計(患者1人当たりの医療費上位10疾病)をみると、「白血病」、「腎不全」、「気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」、「妊娠及び胎児発育に関連する障害」は3年度とも上位に位置しています。

年度別 疾病中分類による疾病別統計(患者1人当たりの医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者1人当たりの医療費(円)
平成30年度	1	0209 白血病	53,147,022	39	1,362,744
	2	1402 腎不全	494,825,651	436	1,134,921
	3	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	166,444,328	334	498,336
	4	0904 くも膜下出血	18,686,892	39	479,151
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,969,124	22	407,687
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	42,056,247	109	385,837
	7	0208 悪性リンパ腫	46,319,065	121	382,802
	8	0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	199,237,678	645	308,896
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	80,687,257	284	284,110
	10	0601 パーキンソン病	38,362,167	165	232,498
令和元年度	1	0209 白血病	49,789,163	36	1,383,032
	2	1402 腎不全	481,985,319	433	1,113,130
	3	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	29,892,290	27	1,107,122
	4	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	191,786,198	313	612,735
	5	1602 その他の周産期に発生した病態	8,610,030	20	430,502
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	52,124,173	122	427,247
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	91,057,445	266	342,321
	8	0208 悪性リンパ腫	39,406,754	122	323,006
	9	0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	195,563,778	662	295,414
	10	0601 パーキンソン病	48,308,434	168	287,550
令和2年度	1	1402 腎不全	474,858,833	449	1,057,592
	2	0209 白血病	48,354,829	49	986,833
	3	0205 気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	170,524,426	279	611,199
	4	1602 その他の周産期に発生した病態	19,469,794	34	572,641
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,610,541	21	457,645
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	43,974,021	110	399,764
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	90,173,765	266	338,999
	8	0503 統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	169,163,649	664	254,765
	9	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	22,901,246	94	243,630
	10	0601 パーキンソン病	40,618,730	186	218,380

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…疾病中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…疾病中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

(5) 生活習慣病に係る医療費

令和2年度の生活習慣病医療費を見ると、上位は腎不全、糖尿病、高血圧性疾患となっており、この3疾病で全体の約7割を占めます。

令和2年度の生活習慣病医療費を平成30年度と比較すると、高血圧性疾患、脂質異常症、腎不全の減少額が大きい一方、糖尿病は増加しています。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		H30→R2	
	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	増減額	増減率
1402 腎不全	494,825,651	31.3	481,985,319	31.6	474,858,833	31.7	-19,966,818	-4.0%
0402 糖尿病	324,299,888	20.5	341,097,516	22.3	336,156,029	22.5	11,856,141	3.7%
0901 高血圧性疾患	263,725,878	16.7	243,828,543	16.0	236,253,746	15.8	-27,472,132	-10.4%
0403 脂質異常症	163,274,406	10.3	155,240,099	10.2	141,077,650	9.4	-22,196,756	-13.6%
0902 虚血性心疾患	134,863,849	8.5	135,203,513	8.9	126,923,019	8.5	-7,940,830	-5.9%
0906 脳梗塞	101,784,203	6.4	98,454,475	6.4	104,985,227	7.0	3,201,024	3.1%
0905 脳内出血	61,381,231	3.9	55,673,105	3.6	51,053,296	3.4	-10,327,935	-16.8%
0909 動脈硬化(症)	19,754,070	1.2	12,596,657	0.8	16,485,290	1.1	-3,268,780	-16.5%
0904 くも膜下出血	18,686,892	1.2	2,937,973	0.2	8,998,819	0.6	-9,688,073	-51.8%
0907 脳動脈硬化(症)	46,574	0.003	34,586	0.002	19,623	0.001	-26,951	-57.9%
合計	1,582,642,642		1,527,051,786		1,496,811,532		-85,831,110	-5.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健診等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健診等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

3. 特定健康診査の分析

(1) 特定健診受診状況

国保被保険者40歳～74歳で実施している特定健診の受診率は、計画策定時の平成28年度からみると順調に上昇傾向にあり、令和元年度は36.1%まで上がりました。

しかし、令和2年1月から流行した新型コロナウイルス感染症により、令和2年度における特定健診の受診率は19.6%と大幅に減少しました。県平均の32.9%を13.3%下回っています。

厚生労働省は、市町村国保の特定健診受診率の目標値を60%以上と設定しており、情勢にあわせた受診率向上対策が必要です。

年度別 特定健診受診率の比較

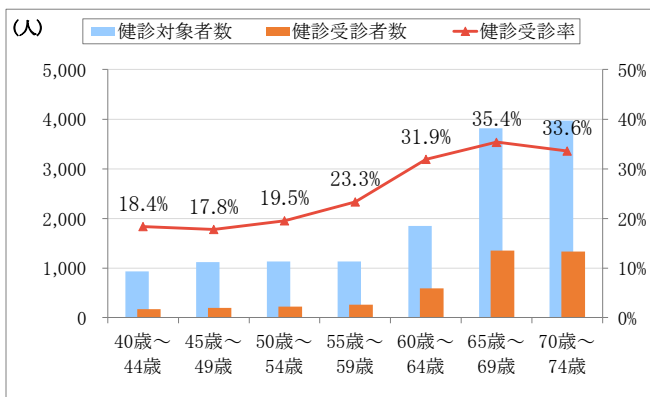
	特定健診受診率(%)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
八街市	29.6	36.1	19.6
同規模保険者	40.8	41.6	35.5
県	40.7	40.8	32.9
国	37.5	37.7	33.5

	特定健診受診者数(人)			特定健診対象者数(人)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
八街市	4,131	4,906	2,641	13,960	13,595	13,448
同規模保険者	1,175,812	1,151,062	968,218	2,883,649	2,767,587	2,727,210
県	398,925	386,987	308,971	981,273	948,633	937,938
国	7,755,065	7,583,981	6,701,452	20,677,921	20,127,422	19,996,973

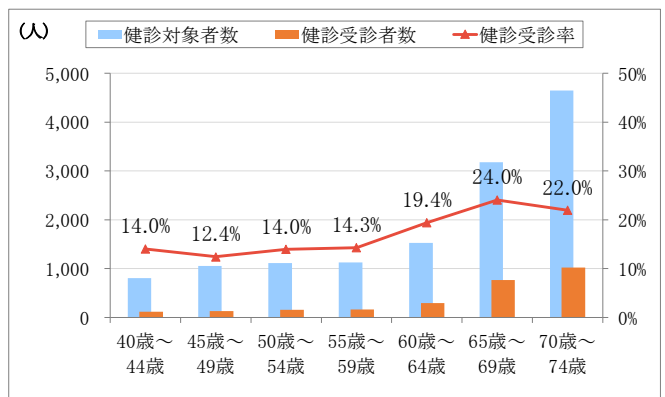
出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

年齢別の特定健診の受診率を平成30年度と令和2年度で比較すると、40歳～44歳では4.4%の低下であるのに対して60歳以上では10%以上低下しています。年齢とともに受診率の低下幅が大きく、新型コロナウイルス感染症は高齢者の受診行動に影響が強く出ています。

年齢別特定健診受診率(平成30年度)



年齢別特定健診受診率(令和2年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

(2) 特定健診に係る分析

① 有所見者割合

LDLコレステロールの有所見者割合が62.4%と最も高く、異常値の場合には糖尿病のおそれのある、HbA1c及び空腹時血糖の有所見者割合も40%を超えて高くなっています。

特定健診有所見者割合(令和2年度)

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,547	2,546	2,547	2,547
有所見者数(人) ※	830	972	623	163
有所見者割合(%) ※	32.6	38.2	24.5	6.4

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,551	2,551	2,551	26	2,546
有所見者数(人) ※	781	103	1,593	11	1,406
有所見者割合(%) ※	30.6	4.0	62.4	42.3	55.2

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

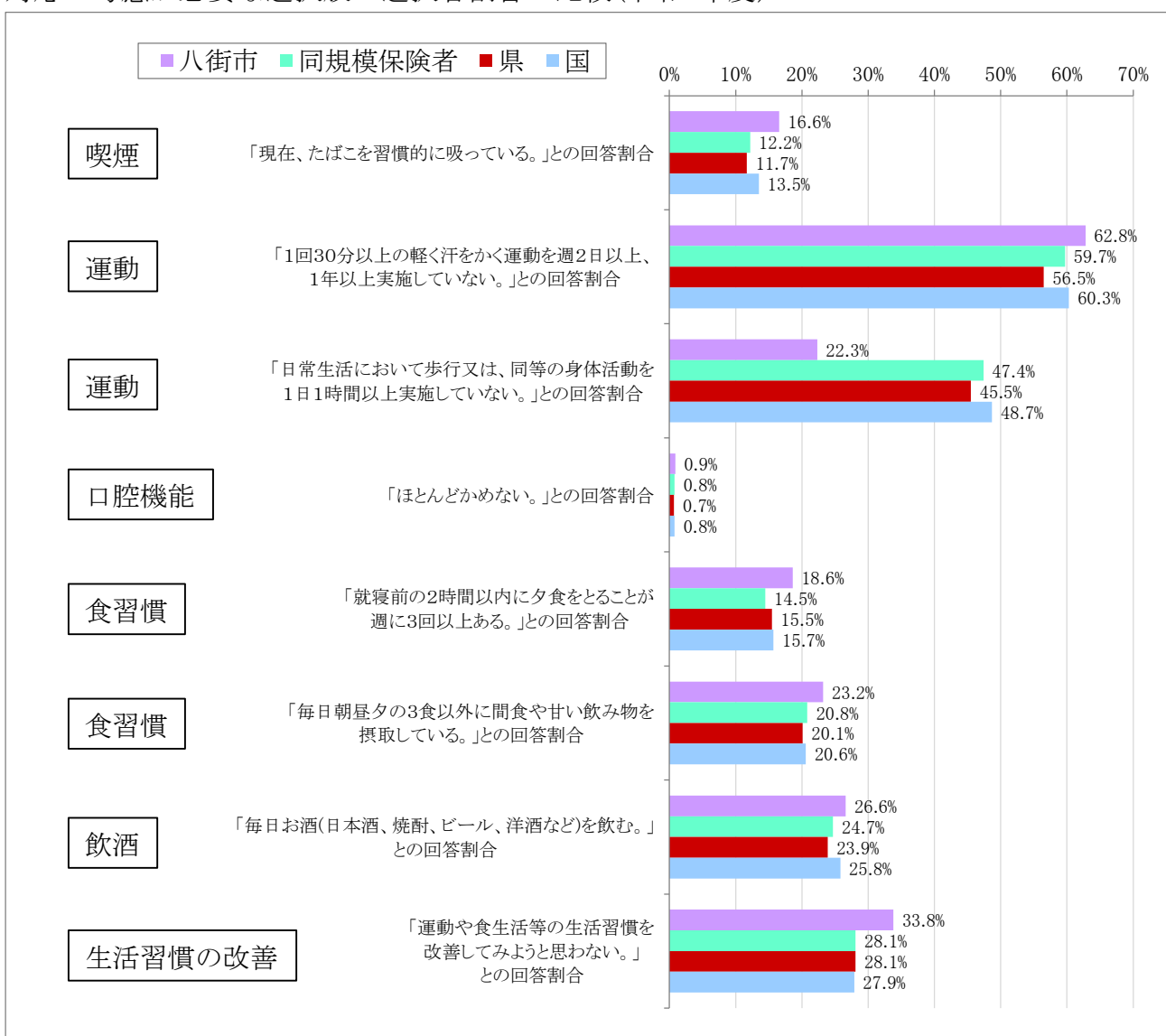
②質問別回答状況

特定健診の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する質問回答項目を国・県・同規模保険者と比較すると、喫煙においては「現在、たばこを習慣的に吸っている」と答えた割合が本市は顕著に高く、禁煙指導を行っていく必要性があります。

また、運動では「日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していない」の割合は低くなっており、日常歩行動作をしている方の割合が高いことを示しています。

口腔機能・食習慣・飲酒等の生活習慣についての項目はいずれも高く改善を必要としますが、改善を試みようと思わない割合が高く、保健指導に課題があります。

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合の比較(令和2年度)



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

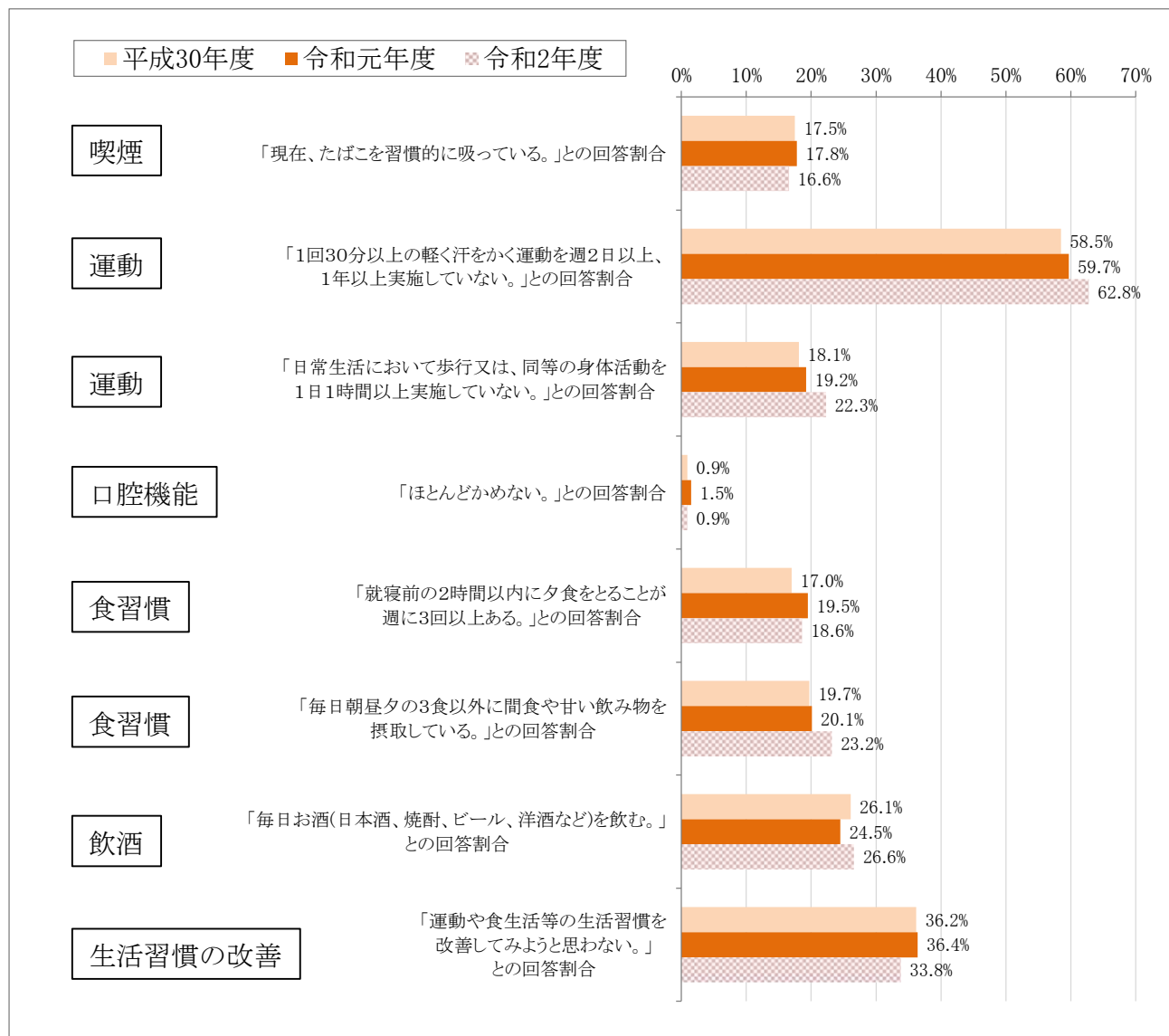
※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

※特定健診…特定基本項目+八街市検査項目(クレアチニン、貧血)

参照:全質問票

前ページの特定健診の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する質問回答項目について、平成30年度から令和2年度における回答割合の変化を確認すると、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない人」「日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していない人」「毎日朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している人」の3項目で3%以上増加しています。

年度別 対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

(3) 特定保健指導実施状況

本市の令和2年度における特定保健指導の実施率は18.1%となっており、国・県・同規模保険者と比べて低い状況です。

内訳をみると、動機付け支援の実施率で低くなっていますが、積極的支援の実施率は国・県より高い状況です。

本市の平成30年度から令和2年度における特定保健指導の実施状況を年度別に確認し、令和2年度の特定保健指導実施率を平成30年度と比べると、国が横ばいで県は1.6%減少している中、本市は1.4%増加しています。これは、健診日当日に測定した腹囲、BMI、血圧や問診内容から対象者を指導するいわゆる「健診同時実施による特定保健指導」を実施したためと考えられます。

厚生労働省は、令和5年度の特定保健指導実施率60%を目標としていることから、上記「健診同時実施による特定保健指導」の継続・拡充を含め引き続き対策を講じることが求められます。

年度別 特定保健指導実施状況(動機付け支援と積極的支援との合計)

	実施率(%)			対象者数(人)			実施者数(人)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
八街市	16.7	17.9	18.1	702	822	458	117	147	83
同規模保険者	34.9	35.8	36.0	142,621	137,995	114,609	49,812	49,443	41,230
県	20.9	21.5	19.3	48,968	47,385	37,450	10,232	10,165	7,229
国	23.8	24.2	23.8	949,164	915,344	816,644	225,564	221,572	194,170

年度別 特定保健指導(動機付け支援)実施率

	実施率(%)			対象者数(人)			実施者数(人)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
八街市	18.6	23.1	18.2	515	635	358	96	147	65
同規模保険者	38.7	39.6	39.6	109,783	106,507	89,428	42,526	42,227	35,390
県	23.1	23.8	21.4	38,078	37,044	29,592	8,780	8,813	6,342
国	27.4	27.9	27.3	700,030	673,958	602,602	191,701	188,138	164,293

年度別 特定保健指導(積極的支援)実施率

	実施率(%)			対象者数(人)			実施者数(人)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
八街市	11.2	0.0	18.0	187	187	100	21	0	18
同規模保険者	22.2	22.9	23.2	32,838	31,488	25,181	7,286	7,216	5,840
県	13.3	13.1	11.3	10,890	10,341	7,858	1,452	1,352	887
国	13.6	13.9	14.0	249,134	241,386	214,042	33,863	33,434	29,877

出典:KDBシステム「地域の全体像の把握」

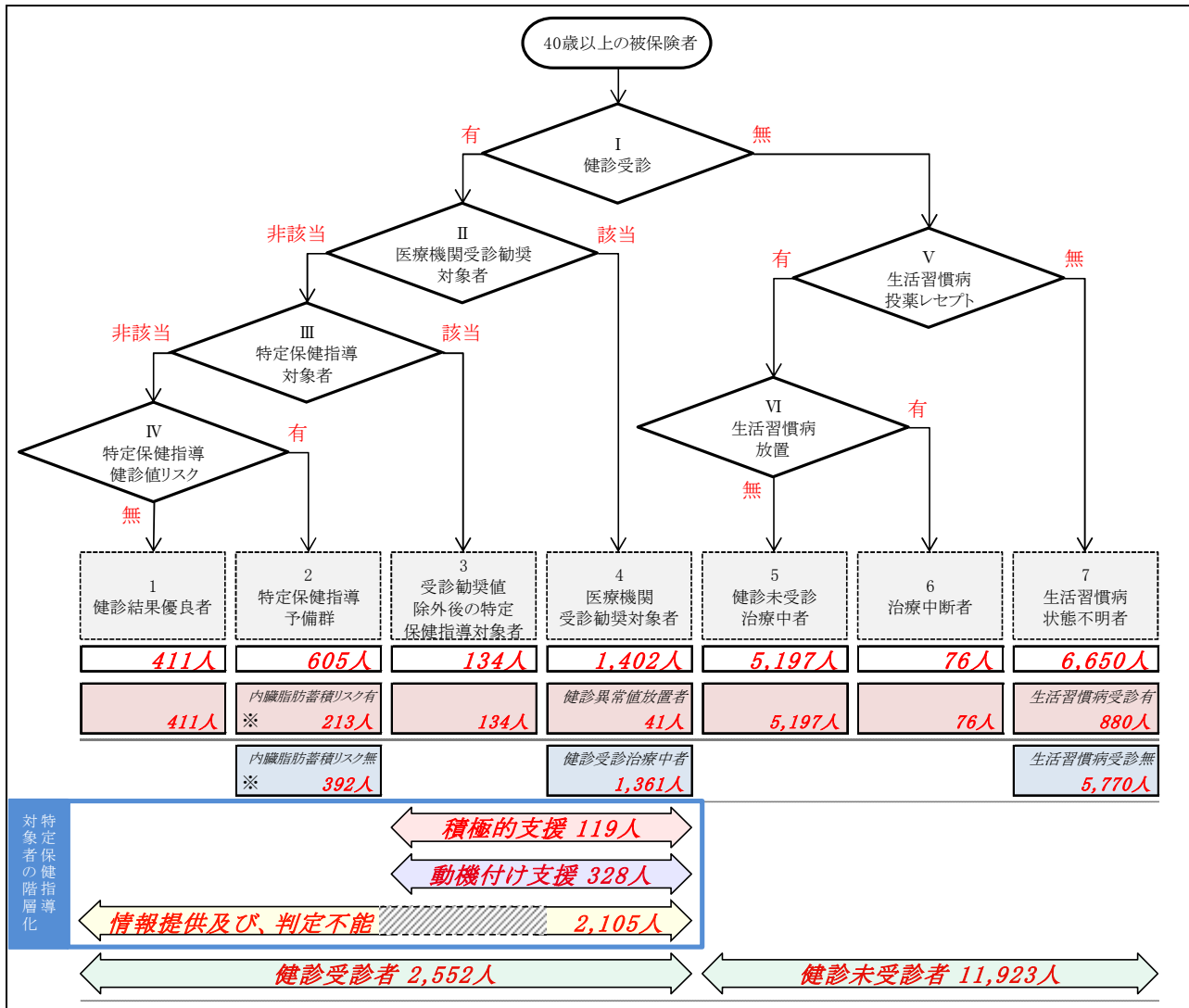
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健診及びレセプトデータによる指導対象者群分析

「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」(厚生労働省)に基づき特定健診対象者を階層化し、指導対象者を選定しています。

本市では、指導対象者選定にあたって、高度なレセプト分析技術を活用することで、対象者の漏れを防ぎ、正確な選定を行い、効果的で質の高い保健指導を実施します。

特定健診及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 健診異常値放置者に係る分析

特定健診では異常値があった場合、医療機関への受診を勧奨しています。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人が存在します。生活習慣病が進行し、重症化することのないよう、異常値を放置せず100%の受診を目指す必要があります。

「(1) 特定健診及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する41人が健診異常値放置受診勧奨対象者となります。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	41 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。

上記41人の対象者に対して、「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察され、指導が困難な可能性も考えられるため、指導対象者から除外します。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	17 人
↓		
除外患者を除いた候補者数		24 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。
 ※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

残る対象者24人のうち、費用対効果を重視し「優先順位」を決めるため、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者が、健診異常値放置受診勧奨対象者となります。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定しました。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではありますが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択します。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ. 優先順位			
↑ 高 効果 ↓ 低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 0人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 0人	候補者D 7人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 3人	候補者F 14人
		喫煙	非喫煙
		←高 リスク 低→	
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			24人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について
 ・健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(3) 生活習慣病治療中断者に係る分析

一度発症した生活習慣病は治癒することは少ないため、病状の維持が重要となります。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められます。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「(1) 特定健診及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者88人が対象となります。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	76 人
	上記以外のグループ	12 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		88 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。「(1) 特定健診及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者
②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有」(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

上記88人の対象者に対して、「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察され、指導が困難な可能性も考えられるため、指導対象者から除外します。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	3 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		85 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

残る対象者85人のうち、費用対効果を重視し「優先順位」を決めるため、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者が、生活習慣病治療中断者となります。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としています。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 4人	候補者A3 2人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 2人	候補者B2 10人	候補者B3 10人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 3人	候補者C2 39人	候補者C3 15人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				85人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、人工透析患者を集計しました。

令和2年度は、起因が明らかとなった患者において、76.5%が生活習慣を起因とするものであり、そのうち、57.4%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。また、令和2年度は平成30年度と比較して3人減少しています。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

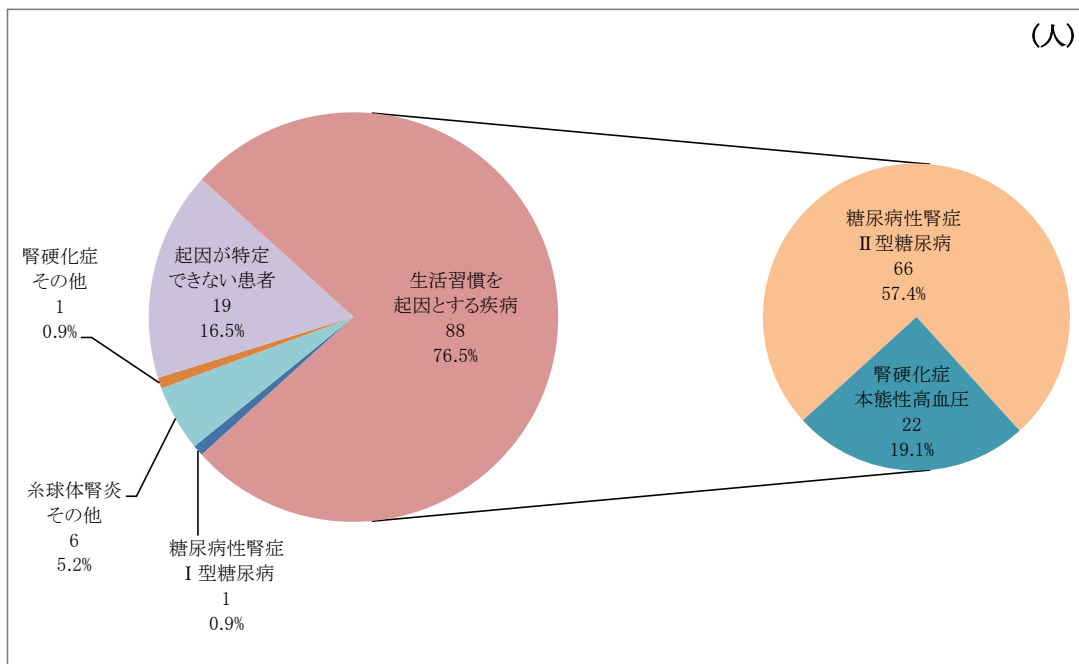
透析療法の種類	平成30年度	令和元年度	令和2年度
血液透析のみ(人)	116	112	111
腹膜透析のみ(人)	1	4	4
血液透析及び腹膜透析(人)	1	0	0
透析患者合計(人)	118	116	115
新規透析患者(人)	-	23	20

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

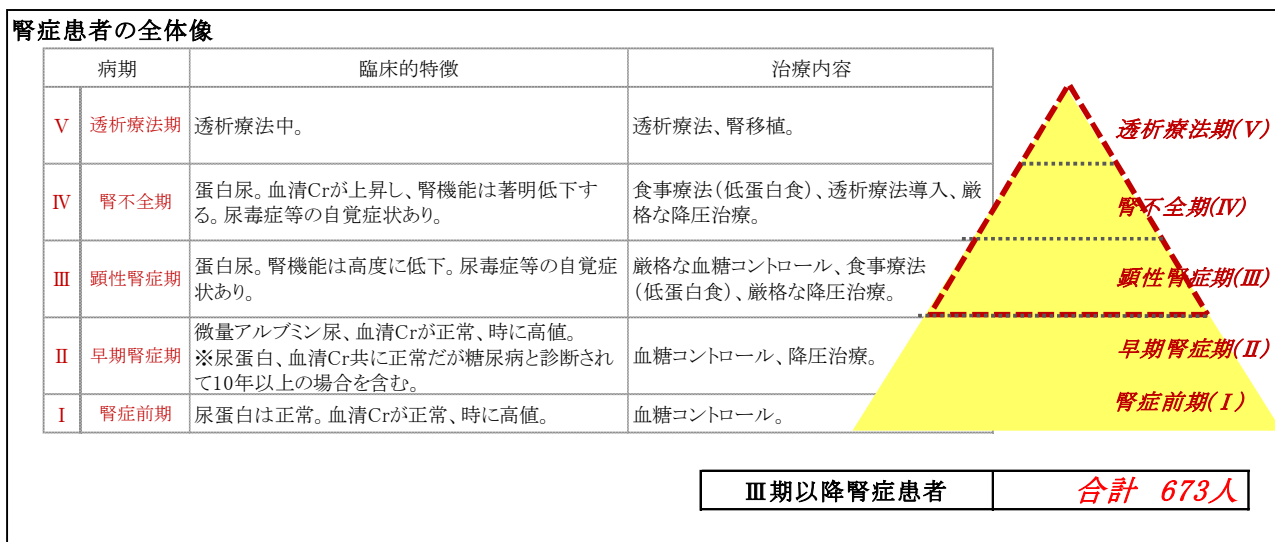
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。その結果、腎症患者673人中172人の適切な指導対象者を特定しました。

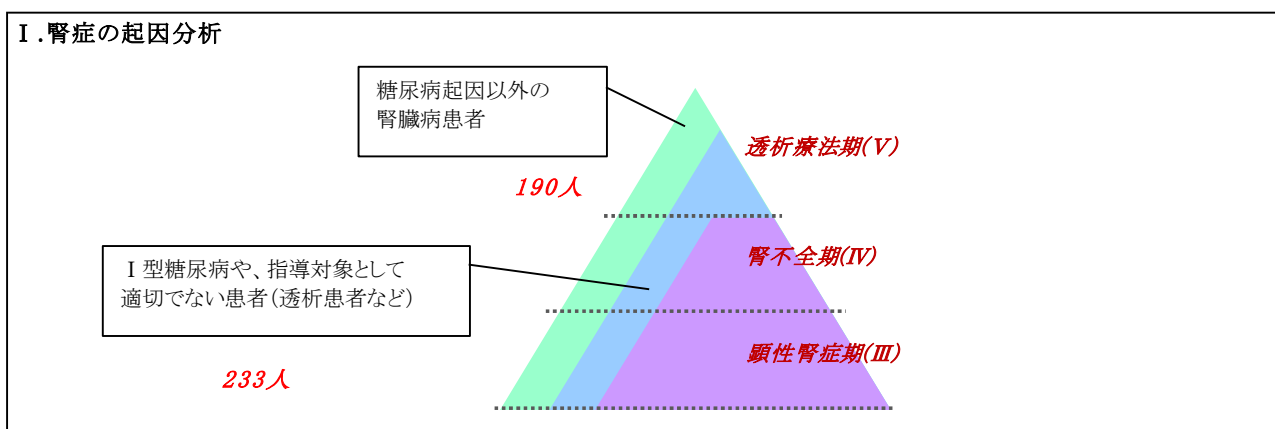
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、190人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者ですが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、233人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

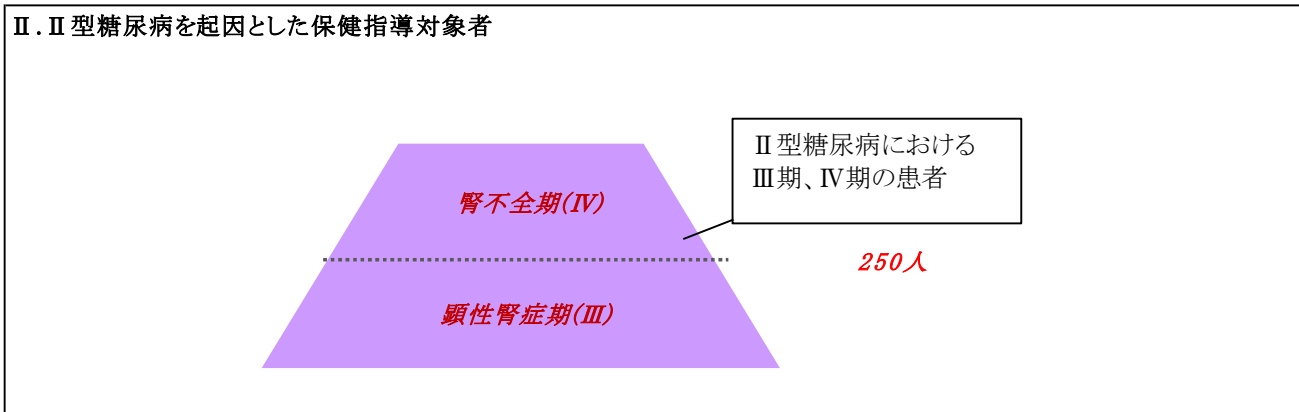
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて250人となっています。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となります。

II型糖尿病を起因とした保健指導対象者



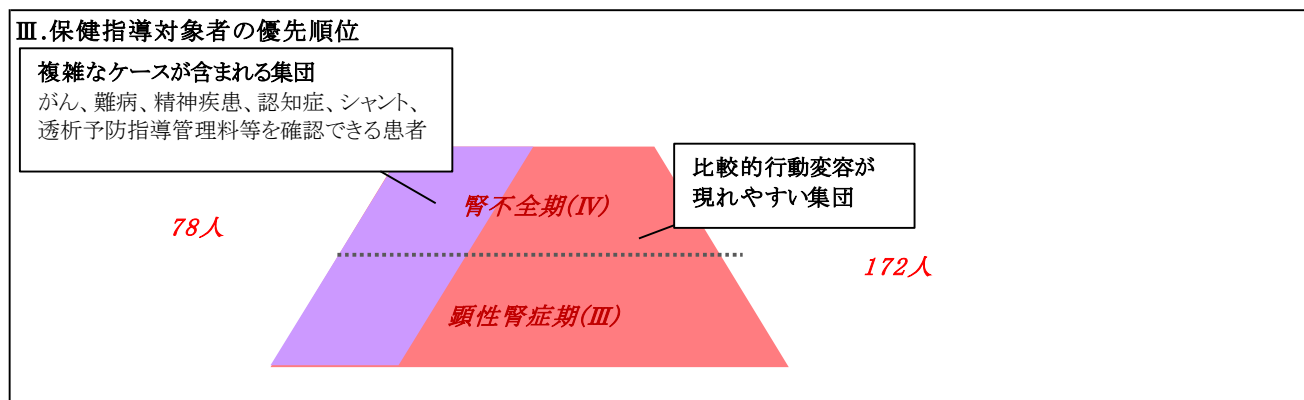
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

上記250人の対象者に対して、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。

250人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、78人存在しています。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、172人存在しています。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがあります。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

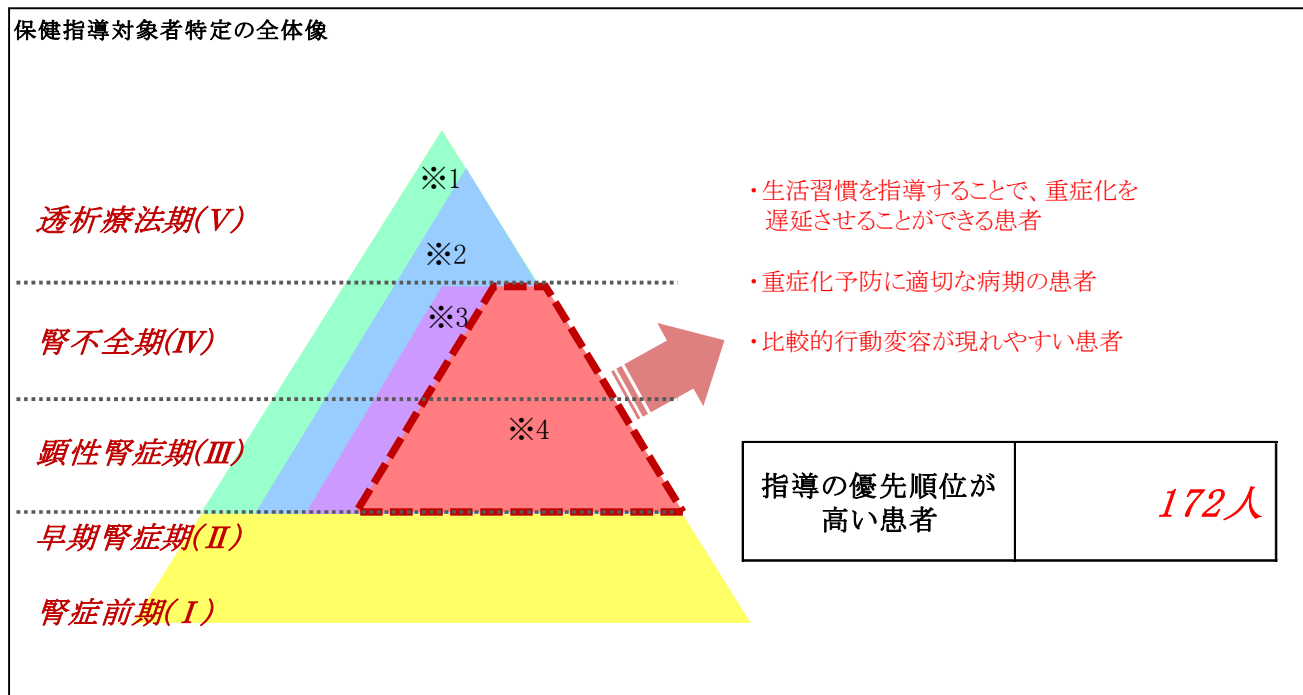
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、172人となっています。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

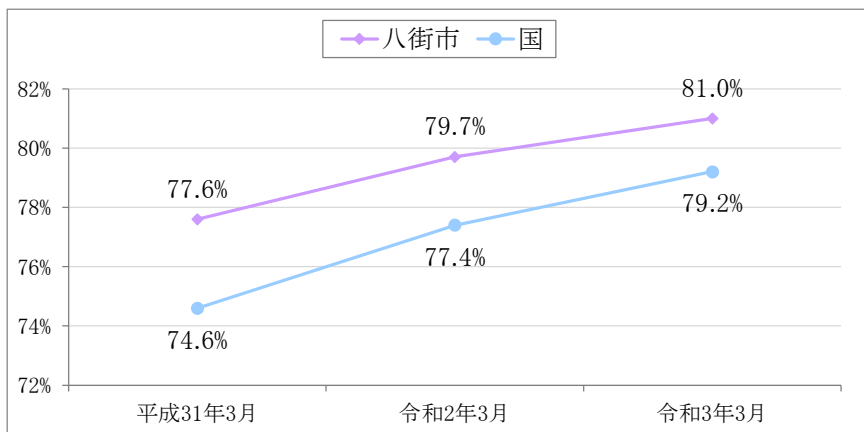
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(5) ジェネリック医薬品使用割合に係る分析

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、患者負担の軽減及び薬剤費の削減の観点から、厚生労働省は国保被保険者に先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを促しています。

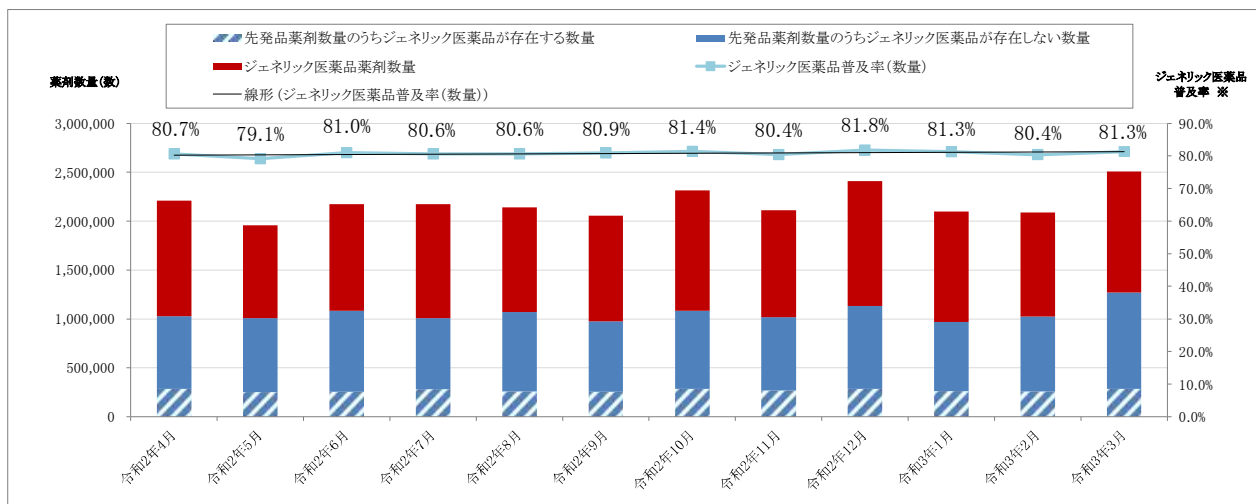
使用割合(数量シェア率)を80%以上とすることを目標としており、本市は令和3年3月時点で81.0%(数量ベース)と目標に達し、増加傾向にあります。

年度別 ジェネリック医薬品使用割合(数量ベース)の経年比較



出典:厚生労働省保険者別の後発医薬品の使用割合

令和2年度月別ジェネリック医薬品使用割合(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

第3章 第2期データヘルス計画中間評価

1. 進捗・前期評価

前期(平成30年度～令和2年度)については、優先課題とした特定健診の受診率が、AIを活用した受診勧奨などの対策により上昇傾向にありましたが、令和2年度は令和2年1月から流行した新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けて、受診率が大きく下がりました。令和2年度は他事業も同様にこの情勢の変化により実施が困難であったり、実施しても効果が薄くなってしまった事業があります。

一方、人的資源不足のため実施できないでいた異常値放置者受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防事業等は、令和2年度から国民健康保険保健事業専属の保健師が配属され、未着手だった保健事業等に、外部委託の活用を併せ着手することができました。

優先課題解決に向けた保健事業

事業名	目標		実績値				評価(※1)
	指標	目標値	ベースライン H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
特定健康診査	受診率	60%	29.2%	29.6% 同等市 40.8% 県 40.7% 国 37.5%	36.2% 同等市 41.6% 県 40.8% 国 37.7%	19.6% 同等市 35.5% 県 32.9% 国 33.5%	d
特定保健指導	実施率	60%	15.1%	15.3% (年齢別) 40~44歳18.8% 45~49歳 3.8% 50~54歳 4.8% 55~59歳 5.9% 60~64歳10.3% 65~69歳17.9% 70~74歳20.7%	18.2% (年齢別) 40~44歳 0% 45~49歳 3.7% 50~54歳 9.8% 55~59歳 2.8% 60~64歳 5.0% 65~69歳25.7% 70~74歳22.0%	17% (年齢別) 40~44歳14.3% 45~49歳 5.0% 50~54歳13.9% 55~59歳14.8% 60~64歳17.4% 65~69歳21.1% 70~74歳25.5%	a*

※1…評価は、a：改善している、a*：改善しているがこのままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるもの、b：変わらない、c：悪化している、d：評価困難の5段階で評価します。

達成につながる取組・要素	未達につながる取組・要素
<p>H30年度 受診率0.4%増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会場での実施、継続。 ・対象者全員への受診券送付継続。 <p>R1年度 受診率6.6%増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会場での実施、継続。 ・初めてAIを活用した受診勧奨事業実施。 ・脳年齢などの測定会を同時実施。 	<p>目標が高すぎ、現状からの達成はかなり困難。</p> <p>R2年度 受診率16.6%減</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行による事業実施内容を変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期の変更(8・11月→2月)及び実施日数の減少。 ・健診場所の限定(密になる地区会館での実施中止し、感染対策を取り、保健センターのみで実施)。 ・健診期間の縮小(24日間→17日間)。 ・AIによる受診勧奨など受診勧奨の一切の実施取りやめ。 ・健診受診を呼びかける講演会の中止。
<p>R1年度 実施率2.9%増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保連支援保健師による対象者への電話勧奨の実施(398件中86件)。 ・特定健診時に初回保健指導同時実施。 ・対象者全員への保健指導実施案内勧奨。 ・通知文デザインの工夫(メタボリックシンドロームのリスクを視覚的に訴える内容とした)。 	<p>目標が高すぎ、現状からの達成はかなり困難。</p> <p>R2年度 実施率1.2%減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診時に初回保健指導同時実施を対面で行い、2回目以降の保健指導は電話のみで実施。(積極的支援36名、動機付け支援79名、合計115名の実施)

その他の保健事業

事業名	目標		実績値				評価 (※1)
	指標	目標値	ベースライン H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
人間ドック・脳ドック等検査費用助成事業	人間ドック・脳ドック等利用助成申請者数	500人	人間ドック257人 脳のみ2人 併用56人 合計315人	人間ドック259人 脳のみ2人 併用36人 合計297人	人間ドック285人 脳のみ5人 併用54人 合計344人	人間ドック269人 脳のみ3人 併用27人 合計299人	d
レセプト点検等医療費適正化指導事業	内容点検効果率	0.12(県平均)%以上	—	0.02%	0.01%	0.02%	b
医療費通知事業	医療費通知回数	3回	3回 6.10.2月	3回 5.8.1月	3回 6.8.1月	3回 6.8.1月	a
後発医薬品(ジェネリック医薬品)差額通知事業	数量シェア率	81.0%	71.0%	76.9%	79.9%	80.1%	a
重複・頻回受診、重複服薬指導事業	重複・頻回受診、重複服薬者のうちの要指導者	0人	2人	2人	2人	1人	a
糖尿病性腎症重症化予防事業	実施者の検査値改善率(体重・腹囲・HbA1c・eGFR値)	40.0%	未実施	未実施	未実施	フロー図1(※2)の対象者に通知及び電話での受診勧奨を実施 実施者11人/対象者15人 改善率27.3%(3名改善 7名不明)	d
訪問指導(生活習慣予防)	受診率	70.0%	未実施	未実施	未実施	受診率25.9% 受診者7人/対象者27人	d

※1…評価は、a：改善している、a*：改善しているがこのままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるもの、b：変わらない、c：悪化している、d：評価困難の5段階で評価します。

※2…千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者抽出フロー図については76、77ページ参照。

達成につながる取組・要素	未達につながる取組・要素
—	特定の場所で手法の同じ周知方法であったため、新規利用者を増加できなかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">R2年度</div> 減少 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大による受診控え。
委託により以下を実施。 ・レセプト(診療報酬明細書)の適正管理 ・2次点検の実施(外部委託) ・レセプト(診療報酬明細書)データの保健事業への活用 ・柔道整復師の正しい掛かり方の周知	—
・通知の年3回の実施。	—
・通知の定期的継続的な実施。 ・令和2年度に千葉県協会けんぽと協力し、小学校・幼稚園・保育園を通じ利用促進啓発チラシを配布。	—
対象者が極めて少数。 ※八街市重複・頻回受診、重複服薬指導事業対象者基準(国保連マニュアルより) 3カ月連続して1カ月に同一疾病で受診医療機関が3カ所以上 なお、整形外科疾患、精神科疾患は指導対象から除く	—
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">R2年度</div> 実施 ・保健師1名配属により、フロー図1の対象者に医療機関受診勧奨の実施。(対象者はKDBシステムから抽出 15名)(コロナ禍のため電話での受診勧奨とした)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">H30～R1年度</div> 未実施 ・人的資源不足による。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">R2年度</div> 実施 ・保健師1名が配置により実施となったが、コロナ禍と人的資源不足のため、対象者のうち健診異常値放置者に対象を絞り、医療機関受診勧奨通知にて実施。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">H30～R1年度</div> 未実施 ・人的資源不足による。

2. 分析による課題及び計画の見直し

第2期データヘルス計画策定時は、実施する保健事業から優先する課題を設定しましたが、中間評価におけるデータの分析から以下3項目を主たる課題として設定し、課題解決に向けた保健事業を実施していきます。

1. 平均自立期間

国・県・同規模保険者と比較し、寿命も平均自立期間も短く、介護認定率の伸び率が高い。介護認定者の有病率を確認すると、糖尿病が約27%と、約23%である比較対象の3者に比べても際立って高水準である。

目的：有病率の高い糖尿病・高血圧・心血管疾患など、重症化の予防が可能な疾病については予防に向けた指導を行い、体の不調に関する不安を軽減することで自立期間の延伸を目指す。

最終目標	ベースライン	年度別目標値		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
延伸	男性:78.9歳 女性:82.8歳	男性:79.2歳 女性:83.1歳	男性:79.5歳 女性:83.4歳	男性:79.9歳 女性:83.8歳

2. 医科の1人当たり医療費

全国的にも1人当たり医療費は上昇傾向にあり、比較的疾病が重症化してから初めて通院している方が多いことが推測される。特に八街市においては生活習慣起因の疾病である腎不全や、呼吸器系の悪性新生物の1人当たり医療費が高い。

目的：予防可能な疾病については早期からの通院を促すとともに、適正な受診行動に向けた指導を継続し、1人当たり医療費の削減を目指す。

最終目標	ベースライン	年度別目標値		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
低減	264,012円	27,307円 (県内29位)	26,540円 (県内37位)	25,535円 (県内28位より上位)

3. 生活習慣病(糖尿病)の外来患者数

八街市においては、平成30年度から令和2年度までの3年間で、生活習慣病に関する医療費が概ね減少傾向にある中、糖尿病にかかる医療費(年間)は1,000万円以上増加している。

目的：糖尿病と診断がつく以前の早期から介入できるよう、特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率の向上を目指す。

最終目標	ベースライン	年度別目標値		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
低下	患者千人当たり新規患者数 15.837人 (外来医療費 344,325,440円)	20.392人 (396,953,550円)	18.708人 (303,358,530円)	18.708人 (303,358,530円)

今後の方向性及び実施保健事業

「平均自立期間」延伸のために、介護予防の視点から地域包括ケア等との一体的な事業の推進を図る体制整備を行う。特に2号認定者(若年層)の減少を目指し、まずは生活習慣病起因となる疾病の早期発見・介入を促すような事業を展開する。新規事業として**介護予防教室**の実施に着手する。

また、これまでの分析から要介護認定者における糖尿病の有病率が高い傾向にあることが分かった。令和2年度に着手できた**糖尿病性腎症重症化予防事業**を今後も継続実施することも介護予防につながると考える。

今後の方向性及び実施保健事業

「医科の1人当たり医療費」削減のために、短期的に医療費の適正化・削減に効果的な事業(**後発医薬品差額通知・重複頻回受診・重複服薬指導事業**)を継続実施する。前期3年間では両事業とも目標を達成できているが、国保総合システムを活用した薬局との連携や、薬剤師会との協力体制の構築など多角的なアプローチを行う。

また、疾病別の医療費分析から、「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」の1人当たり医療費が高水準であることが確認できた。呼吸器系疾患の主たる原因となる喫煙率の低下及び、新規に**COPD(慢性閉塞性肺疾患)**の早期受診・啓発に取り組み、長期的にも医療費の減少を目指す。

今後の方向性及び実施保健事業

「生活習慣病(糖尿病)の外来患者数」の削減を目指し、糖尿病性腎症重症化予防事業を継続実施していく。また、疾病として診断される前段階で生活習慣の見直しのきっかけとするために、**特定健康診査**受診率向上に向けた取り組みを引き続き行う。分析から、特定健康診査受診者の、LDLコレステロールの有所見率が60%を超えており、対象者においては**特定保健指導**への導線を確保し、メタボリックシンドロームの予防・改善につなげることが急務となっている。

事業名	目的	目標値	
		アウトプット	アウトカム
特定健康診査	<p>糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化の予防を目的とした、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の抽出。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の早期受診。 壮年層が受診しやすい環境整備。 保健指導への導入。 <p>対象者:八街市国民健康保険に加入している40歳以上75歳未満の被保険者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初回受診者の割合10%以上 対象者への通知率100% 	特定健診受診率40%
特定保健指導	<p>対象者の生活習慣の改善に向けた自主的な取り組みを支援。また、対象者が自らの健康に関する課題を自己管理できるように保健指導を実施。</p> <p>対象者:特定健診の受診結果を階層化し、特定保健指導の対象となる被保険者</p> <ul style="list-style-type: none"> 40歳～64歳(「動機付け支援」または「積極的支援」の対象者) 65歳～75歳未満(「動機付け支援」の対象者) 	特定保健指導完走率100%	特定保健指導実施率25%
人間ドック・脳ドック等助成	人間ドック及び脳ドックを受検する費用の一部を助成し、被保険者の疾病の予防・早期発見を図る。	特定健診受診票送付時に人間ドックの利用助成申請に関するパンフレットの送付率100%	人間ドック利用助成申請者数500人
レセプト点検等医療費適正化	医療機関・柔道整復師から請求されたレセプト(診療報酬明細書)の資格及び内容を点検し、適正な医療費請求に基づく保険者負担に努める。	医科・歯科レセプト点検予定件数336,600枚 柔整・あはきレセプト点検予定件数7,700枚	内容点検効果率0.19%(全国平均)
医療費通知の送付	被保険者の健康と適正受診の必要性に対する理解を深めていただき、医療費の適正化を図る。	通知対象者への通知率100%	3回送付 1月 2月 3月

前期評価からの今後(令和3年度～5年度)の方向性及び事業内容

令和2年度の年代別受診率は40～44歳男性が一番低く11.2%で、最も高い60年代は60～69歳の男性が25%であった。どの年代も低い受診率であることから40歳～74歳まで全年齢を通して以下の受診率向上対策を行う。

- ・かかりつけ医などで健診が受けられるよう個別健診の実施や集団検診予約制導入により受けやすさの向上を図る。
- ・AIによる受診勧奨の実施を継続。
- ・壮年期の年代の受診率向上のために、夜間健診、休日健診を実施。
- ・通院中の未受診者が多い(全体の6割を占める)ことから、みなし健診の周知、仕組みづくりを構築する。
- ・若年からの生活習慣病予防・健診を習慣づけるため40歳前からの早期健診の導入を検討。
- ・医療機関等と連携し、施設などにポスターを掲示し特定健康診査などの情報を積極的に発信する。
- ・特定健康診査の受診勧奨として医療講演会を実施する。
- ・毎年違うデザインでAIによる受診勧奨を行う。
- ・受診票を個別に郵送している大判の封筒のデザイン変更を行い、わかりやすい案内通知を送る。
- ・JA農協健診機関から特定健診結果の提供に協力を得る。
- ・結果説明会・個別相談会等を実施し受診率向上を図る。

実績値を鑑み最終目標値を40%に変更する。

引き続き、訴求効果の高い指導勧奨通知の作成や、特定健康診査実施日と同日での初回保健指導実施体制の継続など、指導に参加しやすい仕組み作りが必要である。

- ・保健師または管理栄養士の面接等をもとに支援計画を作成し、計画に基づき3か月以上の継続的な支援の実施。
- ・初回指導の健診との同時実施。
- ・個別健診医療機関での保健指導実施。
- ・ICTを活用した保健指導の実施。
- ・電話勧奨の実施。
- ・初回面接時に、インセンティブの進呈。
- ・通知デザインの見直し。

実績値を鑑み最終目標値を25%に変更する。

- ・保険証更新時に人間ドックのチラシを送付する等、制度のわかりやすい説明・申請手順等の周知を行う。
- ・助成内容(金額・対象者等)の見直しを実施することで申請者数の増加を図る。
- ・契約医療機関数を令和2年度：13か所から、今後20か所程度に増やし、利用者の手続きの簡素化を図る。

今後も引き続き、以下のレセプト点検を実施し、適正化を進めていく。

- ・レセプト(診療報酬明細書)の適正管理。
- ・2次点検の実施(外部委託)。
- ・レセプト(診療報酬明細書)データの保健事業への活用。
- ・柔道整復師の正しい掛かり方の周知。

被保険者世帯へ医療機関や総医療費等を記載した通知を年3回送付する。

- ・確定申告での使用希望が多いため、1月～10月診療分を1月末に通知、申告に間に合わない11月12月診療分についても作成次第発送できるよう最短で送付し、本来の医療費通知の目的を、発送時期と併せて広報・HP等にて周知。

事業名	目的	目標値	
		アウトプット	アウトカム
後発医薬品 (ジェネリック 医薬品)差額通 知の送付	窓口負担額の軽減と医療費の抑制を図るた め、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の普 及促進に努める。	対象者への通知率100%	数量シェア率 82%
適正受診・適正 服薬の指導	適正な医療機関の受診と医療費の削減、健 康に関する知識や意識の向上を図る。	重複・頻回受診者、重複 服薬者への通知及び面 談の実施100%	重複・頻回受診者、重複 服薬者0人
糖尿病性腎症 重症化予防プ ログラム	医療機関と連携した適切な受診勧奨と保健 指導により、糖尿病性腎症が重症化するリ スクを有する者を治療に結びつける。	対象者指導実施率20%以 上	実施者の検査値改善率 (体重・腹囲・HbA1c・eGFR 値)40%
			実施者の行動変容率(食 事・運動・生活等)70%
健診異常値放 置者受診勧奨 事業 H30年度・R1年 度 訪問指導(生活 習慣予防)	医療費の抑制の観点や疾病悪化後の受診で は本人や周囲にも負担になることから早期 介入のために特定健康診査の事後指導を実 施し、適切な受診勧奨と生活習慣の改善を 支援する。生活習慣病に関する異常値があ るにもかかわらず、生活習慣病に関する病 名で受診が見られない人に病院の受診を促 す。	対象者への通知率100% 以上	対象者への医療機関受診 率20% 健診異常値放置者20%減 少
【新規】 COPD(慢性閉塞 性肺疾患)早期 発見啓発事業	長期の喫煙が主原因となるCOPD(慢性閉塞性 肺疾患)の認知度を向上し、早期受診や禁煙 を促す。	対象者への通知率100%	特定健診質問票調査 喫煙割合を県平均 (R1:12.5%)まで減少
【新規】 介護予防教室	介護予防の考え方や実践方法の普及啓発を するため、運動・栄養・口腔などに係る 介護予防教室や講演会の実施。	参加者150人	「通いの場」の創出数 5カ所

前期評価からの今後(令和3年度～5年度)の方向性及び事業内容

目標値は達成しているが、差額通知は継続し更なる周知を図る。

- ・全世帯への通知は未実施のため、被保険者証交付時にチラシ付きジェネリックシールを配布する。
- ・国保総合システムで、通知後の分析等を活用し、発送時期の検討や毎年の目標を定めシェア率向上のための対策や手法を考える。
- ・通知を発送していない医療受給券利用世帯へ、幼小中学校を通じチラシで呼びかけを行う等によりシェア率の向上を図る。

対象者への接触の機会も限定され、受診行動の変容は困難であるが、重複服薬者については、薬害等の恐れもことから薬剤師会との連携等も視野に事業展開を図っていく。

- ・国保連合会から提供される重複・頻回受診者該当リストを活用した対象者名簿の作成。
- ・受診内容を分析し、保健指導が必要な方に通知や必要に応じた訪問指導の実施。
- ・薬剤師会との連携の検討。

八街市は生活習慣病患者の50%を糖尿病と腎不全が占めており、医療費は全体の半数以上を占めている。いずれも県平均よりも上位で喫緊の課題であるため、令和3年度から外部委託等で対象者の枠を広げ、事業を実施する。

- ・糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクを有するもの(糖尿病未治療者、健診未受診者治療中断者など)を対象に受診勧奨と保健指導を実施する。
- ・千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを基本とした指導体制を構築していく。また、外部委託先の保健指導終了後の指導の継続やその後の受診行動のモニタリング、次年度の健診時の検査値の推移を、国保保健師は把握していく。
- ・厚生労働省予防・健康づくりに関する大規模実証事業「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの介入効果の検証事業」参加。(令和3年度～)

- ・対象者の抽出・健診後、判明次第早期に受診勧奨通知を送付し、勧奨電話等を実施することで健診異常値放置者率の改善を図る。

生活習慣病発症の危険因子である喫煙は、八街市の特定健診では、喫煙歴があるという回答件数が県下最も高く重視する必要がある。取り組むことで疾病傾向一位の癌や心疾患などの一因を減らしていく必要がある。

- ・長期の喫煙が主原因となるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度を向上し、早期受診や禁煙を促すため健診質問項目「喫煙有」の方のレセプト診療履歴から対象者を抽出し、禁煙外来への受診勧奨通知を送付する。
- ・また、禁煙関連の講演会や禁煙教室、各個別保健事業の中で禁煙についてのポピュレーションアプローチや個別保健指導を実施する。

- ・介護予防教室の開催。

自治会分析

1. 疾病大分類による疾病別医療費自治会別統計

◇分析方法

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

構成比(%)は小数点第一位まで表示。

以下①～⑥については下表中の※参照

①医療費…疾病大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

②レセプト件数…疾病大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

③患者数…疾病大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

④消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

⑤妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

⑥周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【八街東小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,042,137	1.6	14	2,840	13	712	8	23,936	17
II. 新生物<腫瘍>	163,756,575	15.0	1	2,907	12	704	9	232,609	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,355,831	0.7	16	1,078	16	219	17	33,588	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	107,479,998	9.8	4	15,700	2	1,504	1	71,463	10
V. 精神及び行動の障害	61,378,752	5.6	8	4,137	10	385	14	159,425	4
VI. 神経系の疾患	81,888,394	7.5	6	7,074	6	670	12	122,221	5
VII. 眼及び付属器の疾患	39,266,195	3.6	11	4,508	8	890	7	44,119	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,855,776	0.4	18	969	17	225	15	17,137	20
IX. 循環器系の疾患	157,954,205	14.5	2	15,783	1	1,369	2	115,379	6
X. 呼吸器系の疾患	53,524,588	4.9	9	7,441	5	1,180	4	45,360	12
X I. 消化器系の疾患 ※	67,821,850	6.2	7	11,504	3	1,306	3	51,931	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,504,729	1.7	12	5,146	7	912	6	20,290	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	96,169,504	8.8	5	10,090	4	1,154	5	83,336	9
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	122,528,391	11.2	3	4,174	9	672	11	182,334	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,355,793	0.3	19	74	20	31	20	108,251	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,299,178	0.7	17	21	22	11	21	663,562	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	577,747	0.1	21	134	19	37	19	15,615	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,254,643	1.7	13	3,499	11	685	10	26,649	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	53,080,533	4.9	10	2,291	14	555	13	95,641	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,986,130	0.2	20	1,433	15	195	18	10,185	22
X X II. 特殊目的用コード	8,075,762	0.7	15	398	18	223	16	36,214	14
分類外	202,459	0.0	22	70	21	10	22	20,246	19
合計	1,091,359,170			42,182		2,790		391,168	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【八街北小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,061,708	1.5	14	1,485	13	331	10	21,334	17
II. 新生物<腫瘍>	82,769,637	18.1	1	1,519	12	381	8	217,243	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1,376,730	0.3	19	460	15	96	18	14,341	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	47,490,548	10.4	3	8,158	2	796	1	59,661	10
V. 精神及び行動の障害	22,828,265	5.0	8	1,676	11	158	14	144,483	4
VI. 神経系の疾患	30,006,976	6.6	6	3,337	6	337	9	89,041	5
VII. 眼及び付属器の疾患	17,042,503	3.7	11	1,936	8	481	6	35,431	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,455,018	0.3	17	439	17	100	16	14,550	19
IX. 循環器系の疾患	55,277,595	12.1	2	8,263	1	738	2	74,902	7
X. 呼吸器系の疾患	17,274,981	3.8	10	3,367	5	595	4	29,034	14
X I. 消化器系の疾患 ※	29,899,299	6.5	7	5,601	3	680	3	43,970	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,047,172	2.9	13	2,372	7	454	7	28,738	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	44,817,952	9.8	5	5,071	4	591	5	75,834	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	46,617,262	10.2	4	1,832	9	312	12	149,414	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,425,086	0.3	18	19	20	9	20	158,343	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	261,570	0.1	20	5	21	4	21	65,393	9
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	71,187	0.0	21	38	19	15	19	4,746	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,824,734	3.2	12	1,735	10	327	11	45,336	11
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	19,595,354	4.3	9	998	14	269	13	72,845	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,687,937	0.4	16	459	16	99	17	17,050	18
X X II. 特殊目的用コード	2,955,509	0.6	15	198	18	110	15	26,868	16
分類外	3,447	0.0	22	1	22	1	22	3,447	22
合計	457,790,470			20,857		1,444		317,029	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【実住小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,875,000	1.2	15	2,525	13	645	11	19,961	19
II. 新生物<腫瘍>	144,041,708	13.7	2	2,935	12	702	8	205,188	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	42,262,416	4.0	9	1,133	16	218	16	193,864	4
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	125,518,373	11.9	3	15,097	2	1,481	1	84,752	8
V. 精神及び行動の障害	80,841,782	7.7	6	4,104	8	368	14	219,679	2
VI. 神経系の疾患	60,627,719	5.8	8	7,107	5	669	9	90,624	7
VII. 眼及び付属器の疾患	35,261,411	3.3	11	4,072	9	848	7	41,582	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,881,418	0.3	18	944	17	230	15	12,528	21
IX. 循環器系の疾患	192,154,713	18.2	1	15,391	1	1,365	2	140,773	6
X. 呼吸器系の疾患	37,904,614	3.6	10	6,937	6	1,172	4	32,342	16
X I. 消化器系の疾患 ※	61,662,976	5.9	7	10,877	3	1,276	3	48,325	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	19,839,107	1.9	13	4,560	7	902	6	21,995	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	83,909,415	8.0	5	9,437	4	1,077	5	77,910	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	90,633,150	8.6	4	3,986	10	619	12	146,419	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,369,526	0.2	21	64	20	28	20	84,626	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,610,637	0.2	20	14	22	11	21	237,331	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,702,454	0.3	19	83	19	33	19	81,893	10
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,513,075	1.5	14	3,592	11	661	10	23,469	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	28,309,988	2.7	12	2,295	14	560	13	50,554	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,230,049	0.3	17	1,214	15	167	18	19,342	20
X X II. 特殊目的用コード	8,863,181	0.8	16	350	18	191	17	46,404	14
分類外	43,698	0.0	22	20	21	6	22	7,283	22
合計	1,054,056,410			41,040		2,898		363,719	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【交進小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 色付け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	16,409,207	2.5	12	1,661	13	439	10	37,379	15
II. 新生物<腫瘍>	67,374,589	10.1	3	1,938	12	457	8	147,428	4
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	8,138,982	1.2	15	607	16	137	16	59,409	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	62,980,017	9.5	4	10,472	2	997	1	63,170	9
V. 精神及び行動の障害	27,944,551	4.2	9	2,610	9	235	14	118,913	5
VI. 神経系の疾患	31,049,289	4.7	8	4,350	6	429	11	72,376	8
VII. 眼及び付属器の疾患	23,330,840	3.5	11	2,593	10	580	6	40,226	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,986,379	0.3	18	536	17	148	15	13,421	19
IX. 循環器系の疾患	155,814,097	23.5	1	10,813	1	913	2	170,662	3
X. 呼吸器系の疾患	32,121,241	4.8	7	4,835	5	751	5	42,771	13
X I. 消化器系の疾患 ※	40,939,270	6.2	6	7,501	3	857	3	47,770	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,407,459	2.0	14	2,887	7	552	7	24,289	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	61,766,776	9.3	5	6,645	4	780	4	79,188	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	70,684,128	10.6	2	2,676	8	407	12	173,671	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,691,783	0.3	19	61	19	20	19	84,589	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,275,396	0.5	16	25	21	9	21	363,933	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	160,337	0.0	21	59	20	19	20	8,439	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,074,796	2.4	13	2,457	11	443	9	36,286	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	24,744,781	3.7	10	1,409	14	402	13	61,554	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,443,556	0.2	20	800	15	118	18	12,234	20
X X II. 特殊目的用コード	2,568,376	0.4	17	229	18	125	17	20,547	18
分類外	18,750	0.0	22	10	22	5	22	3,750	22
合計	663,924,600			27,355		1,881		352,964	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【笹引小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 色付け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,225,983	1.1	15	1,398	13	355	10	20,355	18
II. 新生物<腫瘍>	95,790,354	14.6	2	1,472	12	353	11	271,361	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,703,437	1.5	12	587	15	138	15	70,315	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	57,929,682	8.9	5	8,497	2	790	1	73,329	8
V. 精神及び行動の障害	37,898,365	5.8	8	2,294	9	218	14	173,846	5
VI. 神経系の疾患	100,251,651	15.3	1	3,997	5	360	9	278,477	2
VII. 眼及び付属器の疾患	28,658,136	4.4	9	2,312	8	501	6	57,202	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,316,922	0.4	19	487	16	110	17	21,063	17
IX. 循環器系の疾患	79,148,017	12.1	4	8,765	1	761	2	104,005	7
X. 呼吸器系の疾患	21,015,547	3.2	10	3,601	6	597	4	35,202	15
X I. 消化器系の疾患 ※	41,186,924	6.3	6	6,260	3	698	3	59,007	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,727,118	1.2	13	2,341	7	474	7	16,302	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	40,741,416	6.2	7	5,046	4	592	5	68,820	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	87,716,724	13.4	3	2,106	10	335	12	261,841	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,996,801	0.5	18	46	19	20	19	149,840	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	6,476,715	1.0	16	9	22	7	21	925,245	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	888,347	0.1	20	34	20	13	20	68,334	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,486,426	1.1	14	1,860	11	386	8	19,395	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,246,694	2.3	11	1,053	14	268	13	56,891	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	662,162	0.1	21	479	17	84	18	7,883	22
X X II. 特殊目的用コード	3,041,039	0.5	17	198	18	114	16	26,676	16
分類外	70,560	0.0	22	19	21	6	22	11,760	21
合計	654,179,020			21,661		1,535		426,175	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【二州小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数(件) ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者1人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,666,082	0.7	15	521	14	144	12	11,570	18
II. 新生物<腫瘍>	67,923,227	27.7	1	691	12	149	11	455,861	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2,156,075	0.9	14	217	16	51	15	42,276	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	25,776,328	10.5	3	3,089	1	320	1	80,551	6
V. 精神及び行動の障害	9,188,290	3.8	8	859	9	75	14	122,511	2
VI. 神経系の疾患	7,122,764	2.9	11	1,512	5	155	9	45,953	10
VII. 眼及び付属器の疾患	7,279,407	3.0	10	769	11	171	7	42,570	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	606,691	0.2	18	142	17	50	16	12,134	17
IX. 循環器系の疾患	33,153,893	13.5	2	2,872	2	291	2	113,931	3
X. 呼吸器系の疾患	13,305,364	5.4	7	1,386	6	243	4	54,755	9
X I. 消化器系の疾患 ※	19,199,140	7.8	5	2,391	3	275	3	69,815	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,387,728	1.4	13	993	7	191	6	17,737	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	25,550,238	10.4	4	1,949	4	241	5	106,018	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,310,912	5.8	6	773	10	139	13	102,956	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	41,705	0.0	19	8	20	4	20	10,426	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	24,776	0.0	20	24	19	8	19	3,097	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,478,212	1.4	12	942	8	166	8	20,953	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,905,916	3.6	9	559	13	152	10	58,592	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	755,761	0.3	17	292	15	47	17	16,080	16
X X II. 特殊目的用コード	982,970	0.4	16	58	18	36	18	27,305	13
分類外	7,521	0.0	21	4	21	1	21	7,521	20
合計	244,823,000			8,268		603		406,008	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【二州小学校沖分校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,211,652	1.0	15	299	12	72	10	16,829	17
II. 新生物<腫瘍>	8,096,102	6.8	7	250	14	70	12	115,659	6
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	330,882	0.3	18	95	17	25	16	13,235	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,278,336	13.6	1	1,715	2	179	1	90,940	9
V. 精神及び行動の障害	7,633,760	6.4	8	361	10	40	14	190,844	2
VI. 神経系の疾患	12,835,368	10.7	2	813	5	81	8	158,461	4
VII. 眼及び付属器の疾患	3,582,391	3.0	12	442	8	103	6	34,780	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	395,953	0.3	17	119	15	29	15	13,654	18
IX. 循環器系の疾患	12,248,117	10.2	4	1,738	1	169	2	72,474	10
X. 呼吸器系の疾患	12,248,750	10.2	3	788	6	125	5	97,990	8
X I. 消化器系の疾患 ※	6,248,615	5.2	9	1,259	3	151	3	41,382	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,185,705	1.8	14	465	7	92	7	23,758	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,022,949	5.0	10	1,110	4	144	4	41,826	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,857,888	9.9	5	381	9	63	13	188,220	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	107,066	0.1	19	1	20	1	20	107,066	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,629	0.0	20	10	19	5	19	2,126	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,147,070	2.6	13	350	11	80	9	39,338	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,761,439	8.2	6	287	13	71	11	137,485	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,444,816	3.7	11	108	16	17	17	261,460	1
X X II. 特殊目的用コード	1,005,552	0.8	16	22	18	14	18	71,825	11
分類外	0	0.0		0		0		0	
合計	119,653,040			4,216		327		365,911	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【川上小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	11,199,007	2.0	12	1,363	13	334	12	33,530	15
II. 新生物<腫瘍>	74,792,119	13.7	2	1,544	12	392	8	190,796	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,569,370	1.4	15	583	15	130	15	58,226	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	57,337,925	10.5	3	8,153	2	821	1	69,839	8
V. 精神及び行動の障害	27,636,919	5.0	9	1,831	10	183	14	151,021	3
VI. 神経系の疾患	43,648,164	8.0	7	3,627	6	374	10	116,706	4
VII. 眼及び付属器の疾患	18,330,381	3.3	11	2,075	8	453	7	40,464	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,665,416	0.3	17	470	17	123	16	13,540	19
IX. 循環器系の疾患	77,609,040	14.2	1	8,214	1	755	2	102,793	6
X. 呼吸器系の疾患	26,611,064	4.9	10	3,700	5	608	5	43,768	12
X I. 消化器系の疾患 ※	44,980,506	8.2	6	6,168	3	706	3	63,712	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,078,094	1.8	14	2,296	7	454	6	22,198	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	49,955,687	9.1	5	5,428	4	643	4	77,692	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	51,439,307	9.4	4	1,817	11	336	11	153,093	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	213,110	0.0	20	14	21	6	20	35,518	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	10,590	0.0	22	4	22	2	22	5,295	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,181,933	0.2	18	66	19	25	19	47,277	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,733,505	2.0	13	2,047	9	389	9	27,593	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	29,996,044	5.5	8	1,099	14	283	13	105,993	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	396,515	0.1	19	484	16	91	18	4,357	22
X X II. 特殊目的用コード	2,319,228	0.4	16	188	18	100	17	23,192	17
分類外	21,036	0.0	21	23	20	3	21	7,012	20
合計	547,724,960			21,325		1,496		366,126	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【朝陽小学校区】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 色付け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,645,910	2.2	13	2,309	12	589	8	29,959	14
II. 新生物<腫瘍>	106,495,158	13.6	2	2,041	13	522	11	204,014	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	9,318,230	1.2	15	687	17	175	17	53,247	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	85,696,441	10.9	3	12,938	1	1,230	1	69,672	7
V. 精神及び行動の障害	67,535,981	8.6	5	3,832	8	359	14	188,123	2
VI. 神経系の疾患	63,419,418	8.1	7	5,805	6	564	9	112,446	4
VII. 眼及び付属器の疾患	31,534,395	4.0	10	3,501	9	725	7	43,496	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,918,115	0.4	17	771	15	202	15	14,446	19
IX. 循環器系の疾患	108,794,197	13.9	1	12,592	2	1,121	2	97,051	5
X. 呼吸器系の疾患	37,542,952	4.8	9	5,896	5	988	4	37,999	13
X I. 消化器系の疾患 ※	51,713,590	6.6	8	8,914	3	1,054	3	49,064	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,292,089	2.3	12	4,032	7	755	6	24,228	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	74,321,323	9.5	4	7,627	4	964	5	77,097	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	64,365,516	8.2	6	2,969	10	482	12	133,538	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	817,755	0.1	19	31	20	17	20	48,103	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	39,802	0.0	21	4	22	3	22	13,267	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	762,883	0.1	20	131	19	30	19	25,429	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,231,549	1.4	14	2,950	11	556	10	20,201	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	25,565,077	3.3	11	1,766	14	443	13	57,709	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,265,823	0.2	18	766	16	134	18	9,446	21
X X II. 特殊目的用コード	5,209,697	0.7	16	315	18	177	16	29,433	15
分類外	23,739	0.0	22	31	20	6	21	3,957	22
合計	784,509,640			34,067		2,441		321,389	

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【その他】疾病大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

色付け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者1人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,714,710	0.9	16	1,036	12	228	10	20,679	18
II. 新生物<腫瘍>	148,444,494	28.3	1	1,325	9	220	11	674,748	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6,226,531	1.2	15	599	14	123	15	50,622	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	65,561,096	12.5	2	3,886	2	430	1	152,468	5
V. 精神及び行動の障害	18,365,986	3.5	9	1,417	8	148	13	124,095	7
VI. 神経系の疾患	30,854,163	5.9	7	2,275	6	233	9	132,421	6
VII. 眼及び付属器の疾患	7,696,782	1.5	14	992	13	275	7	27,988	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	859,818	0.2	21	224	17	61	17	14,095	21
IX. 循環器系の疾患	47,422,503	9.0	3	3,965	1	384	4	123,496	8
X. 呼吸器系の疾患	35,711,216	6.8	5	2,556	5	419	2	85,230	10
X I. 消化器系の疾患 ※	33,086,771	6.3	6	3,436	3	398	3	83,133	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,874,249	1.5	13	1,666	7	299	6	26,335	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	28,345,136	5.4	8	2,804	4	337	5	84,110	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	46,320,773	8.8	4	1,312	10	212	12	218,494	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	923,879	0.2	19	29	20	12	19	76,990	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,106,447	1.7	12	12	21	3	21	3,035,482	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,427,560	0.8	17	66	19	12	19	368,963	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,683,465	2.2	11	1,307	11	243	8	48,080	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,149,919	2.9	10	565	15	138	14	109,782	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	885,326	0.2	20	268	16	51	18	17,359	19
X X II. 特殊目的用コード	1,345,365	0.3	18	163	18	87	16	15,464	20
分類外	13,871	0.0	22	5	22	3	21	4,624	22
合計	525,020,060			11,147		909		577,580	

2. 疾病中分類による疾病別医療費自治会別統計

◇分析方法

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下については表中の※参照

※医療費…疾病中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【八街東小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	95,410,815	8.7	83
2	0402	糖尿病	64,724,162	5.9	1,132
3	0606	その他の神経系の疾患	55,262,491	5.1	616
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	47,766,787	4.4	292
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,466,211	4.2	45
6	0901	高血圧性疾患	43,143,500	4.0	1,062
7	1113	その他の消化器系の疾患	42,739,038	3.9	864
8	0903	その他の心疾患	34,057,906	3.1	568
9	1901	骨折	28,045,983	2.6	136
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	27,425,681	2.5	122

【八街北小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	34,328,913	7.5	31
2	0402	糖尿病	26,342,518	5.8	590
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	24,738,031	5.4	152
4	0901	高血圧性疾患	22,251,511	4.9	583
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	20,118,964	4.4	31
6	1113	その他の消化器系の疾患	16,691,414	3.6	451
7	0606	その他の神経系の疾患	15,887,855	3.5	312
8	0903	その他の心疾患	15,867,190	3.5	294
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,824,734	3.2	327
10	1901	骨折	14,782,567	3.2	82

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【実住小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	69,966,524	6.6	70
2	0402	糖尿病	56,341,461	5.3	1,137
3	0903	その他の心疾患	47,512,714	4.5	576
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	45,018,806	4.3	122
5	1113	その他の消化器系の疾患	42,213,360	4.0	860
6	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	41,604,037	3.9	374
7	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	41,325,233	3.9	309
8	0901	高血圧性疾患	41,110,228	3.9	1,059
9	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	37,848,614	3.6	91
10	0606	その他の神経系の疾患	37,649,920	3.6	608

【交進小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	57,177,328	8.6	52
2	0903	その他の心疾患	51,627,856	7.8	389
3	0402	糖尿病	37,117,339	5.6	770
4	0901	高血圧性疾患	29,131,374	4.4	716
5	1113	その他の消化器系の疾患	28,312,886	4.3	590
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	26,673,646	4.0	228
7	0902	虚血性心疾患	23,922,150	3.6	203
8	0912	その他の循環器系の疾患	22,482,761	3.4	132
9	0606	その他の神経系の疾患	21,121,351	3.2	389
10	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	18,447,979	2.8	272

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【笹引小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606	その他の神経系の疾患	89,704,241	13.7	325
2	1402	腎不全	74,790,453	11.4	49
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	55,221,483	8.4	162
4	0402	糖尿病	33,451,839	5.1	608
5	1113	その他の消化器系の疾患	28,021,079	4.3	487
6	0901	高血圧性疾患	22,156,555	3.4	600
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	19,087,121	2.9	344
8	0903	その他の心疾患	18,357,755	2.8	309
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	15,851,517	2.4	65
10	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	13,810,918	2.1	108

【二州小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	21,791,661	8.9	67
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	19,645,455	8.0	13
3	0402	糖尿病	14,108,006	5.8	243
4	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	12,456,038	5.1	34
5	1113	その他の消化器系の疾患	11,896,558	4.9	195
6	1402	腎不全	9,732,769	4.0	25
7	0902	虚血性心疾患	9,002,090	3.7	67
8	0901	高血圧性疾患	8,680,426	3.5	231
9	1301	炎症性多発性関節障害	8,330,664	3.4	56
10	1302	関節症	7,078,682	2.9	59

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【二州小学校沖分校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	9,670,307	8.1	6
2	0402	糖尿病	9,061,625	7.6	138
3	0606	その他の神経系の疾患	8,043,501	6.7	68
4	1011	その他の呼吸器系の疾患	7,517,919	6.3	24
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	6,896,485	5.8	13
6	0901	高血圧性疾患	5,383,000	4.5	131
7	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	5,344,874	4.5	52
8	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	4,444,816	3.7	17
9	1901	骨折	4,350,731	3.6	23
10	1113	その他の消化器系の疾患	3,583,149	3.0	97

【川上小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	41,146,944	7.5	35
2	0402	糖尿病	30,951,543	5.7	625
3	1113	その他の消化器系の疾患	30,325,943	5.5	481
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	28,993,640	5.3	169
5	0606	その他の神経系の疾患	22,390,326	4.1	333
6	0901	高血圧性疾患	21,812,125	4.0	581
7	0903	その他の心疾患	18,479,320	3.4	326
8	0403	脂質異常症	14,538,225	2.7	445
9	1901	骨折	13,980,343	2.6	65
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	13,839,407	2.5	28

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【朝陽小学校区】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	48,028,379	6.1	897
2	1402	腎不全	43,340,756	5.5	58
3	0606	その他の神経系の疾患	38,024,173	4.8	499
4	0901	高血圧性疾患	34,071,688	4.3	857
5	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	30,106,427	3.8	220
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	29,621,515	3.8	111
7	1113	その他の消化器系の疾患	28,862,999	3.7	699
8	0903	その他の心疾患	26,224,773	3.3	443
9	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	24,940,412	3.2	170
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	20,891,417	2.7	36

【その他】疾病中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	59,301,412	11.3	99
2	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	41,828,825	8.0	141
3	1402	腎不全	39,294,024	7.5	40
4	1113	その他の消化器系の疾患	24,958,456	4.8	289
5	0606	その他の神経系の疾患	23,600,690	4.5	215
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	22,360,148	4.3	27
7	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	21,554,912	4.1	35
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	17,537,776	3.3	93
9	0402	糖尿病	16,029,157	3.1	312
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	14,956,026	2.8	19

◇分析方法

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下については表中の※参照

※患者数…疾病中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【八街東小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	64,724,162	1,132	40.6
2	0901	高血圧性疾患	43,143,500	1,062	38.1
3	1113	その他の消化器系の疾患	42,739,038	864	31.0
4	0403	脂質異常症	25,344,817	830	29.7
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18,254,643	685	24.6
6	1202	皮膚炎及び湿疹	9,537,035	682	24.4
7	0703	屈折及び調節の障害	2,448,524	631	22.6
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	24,556,741	624	22.4
9	0606	その他の神経系の疾患	55,262,491	616	22.1
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	7,121,316	589	21.1

【八街北小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	26,342,518	590	40.9
2	0901	高血圧性疾患	22,251,511	583	40.4
3	1113	その他の消化器系の疾患	16,691,414	451	31.2
4	0403	脂質異常症	13,615,896	442	30.6
5	0703	屈折及び調節の障害	1,251,968	355	24.6
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	9,278,808	350	24.2
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,824,734	327	22.6
8	1202	皮膚炎及び湿疹	3,747,450	318	22.0
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,442,946	318	22.0
10	0606	その他の神経系の疾患	15,887,855	312	21.6

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【実住小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	56,341,461	1,137	39.2
2	0901	高血圧性疾患	41,110,228	1,059	36.5
3	1113	その他の消化器系の疾患	42,213,360	860	29.7
4	0403	脂質異常症	23,349,576	774	26.7
5	1202	皮膚炎及び湿疹	7,109,223	668	23.1
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15,513,075	661	22.8
7	0606	その他の神経系の疾患	37,649,920	608	21.0
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	21,876,475	585	20.2
9	0903	その他の心疾患	47,512,714	576	19.9
10	0703	屈折及び調節の障害	2,082,094	567	19.6

【交進小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	37,117,339	770	40.9
2	0901	高血圧性疾患	29,131,374	716	38.1
3	1113	その他の消化器系の疾患	28,312,886	590	31.4
4	0403	脂質異常症	15,912,775	541	28.8
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,074,796	443	23.6
6	1202	皮膚炎及び湿疹	4,751,342	417	22.2
7	0703	屈折及び調節の障害	1,819,668	406	21.6
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	12,572,816	394	20.9
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,098,304	391	20.8
10	0903	その他の心疾患	51,627,856	389	20.7

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【笹引小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	33,451,839	608	39.6
2	0901	高血圧性疾患	22,156,555	600	39.1
3	1113	その他の消化器系の疾患	28,021,079	487	31.7
4	0403	脂質異常症	13,626,771	439	28.6
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,486,426	386	25.1
6	1202	皮膚炎及び湿疹	4,145,145	357	23.3
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	19,087,121	344	22.4
8	0606	その他の神経系の疾患	89,704,241	325	21.2
8	0703	屈折及び調節の障害	1,266,135	325	21.2
10	0903	その他の心疾患	18,357,755	309	20.1

【二州小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	14,108,006	243	40.3
2	0901	高血圧性疾患	8,680,426	231	38.3
3	1113	その他の消化器系の疾患	11,896,558	195	32.3
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,478,212	166	27.5
5	0403	脂質異常症	4,714,973	157	26.0
6	1202	皮膚炎及び湿疹	1,781,216	141	23.4
7	0606	その他の神経系の疾患	4,260,958	130	21.6
7	0703	屈折及び調節の障害	520,650	130	21.6
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,594,528	125	20.7
10	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	2,619,155	119	19.7

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【二州小学校沖分校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	9,061,625	138	42.2
2	0901	高血圧性疾患	5,383,000	131	40.1
3	0403	脂質異常症	3,086,361	100	30.6
4	1113	その他の消化器系の疾患	3,583,149	97	29.7
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	928,818	84	25.7
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,147,070	80	24.5
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,909,482	72	22.0
8	0606	その他の神経系の疾患	8,043,501	68	20.8
9	0703	屈折及び調節の障害	236,122	67	20.5
10	0903	その他の心疾患	1,985,791	63	19.3

【川上小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	30,951,543	625	41.8
2	0901	高血圧性疾患	21,812,125	581	38.8
3	1113	その他の消化器系の疾患	30,325,943	481	32.2
4	0403	脂質異常症	14,538,225	445	29.7
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,733,505	389	26.0
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,455,198	334	22.3
7	0606	その他の神経系の疾患	22,390,326	333	22.3
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	10,858,065	328	21.9
9	0903	その他の心疾患	18,479,320	326	21.8
10	1202	皮膚炎及び湿疹	4,032,151	322	21.5

八街東小学校区	八街北小学校区	実住小学校区	交進小学校区	笹引小学校区
二州小学校区	二州小学校沖分校区	川上小学校区	朝陽小学校区	その他

【朝陽小学校区】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	48,028,379	897	36.7
2	0901	高血圧性疾患	34,071,688	857	35.1
3	1113	その他の消化器系の疾患	28,862,999	699	28.6
4	0403	脂質異常症	20,846,881	681	27.9
5	1202	皮膚炎及び湿疹	9,564,920	571	23.4
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,231,549	556	22.8
7	1006	アレルギー性鼻炎	6,772,932	510	20.9
8	0703	屈折及び調節の障害	1,825,239	503	20.6
9	0606	その他の神経系の疾患	38,024,173	499	20.4
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	19,440,819	491	20.1

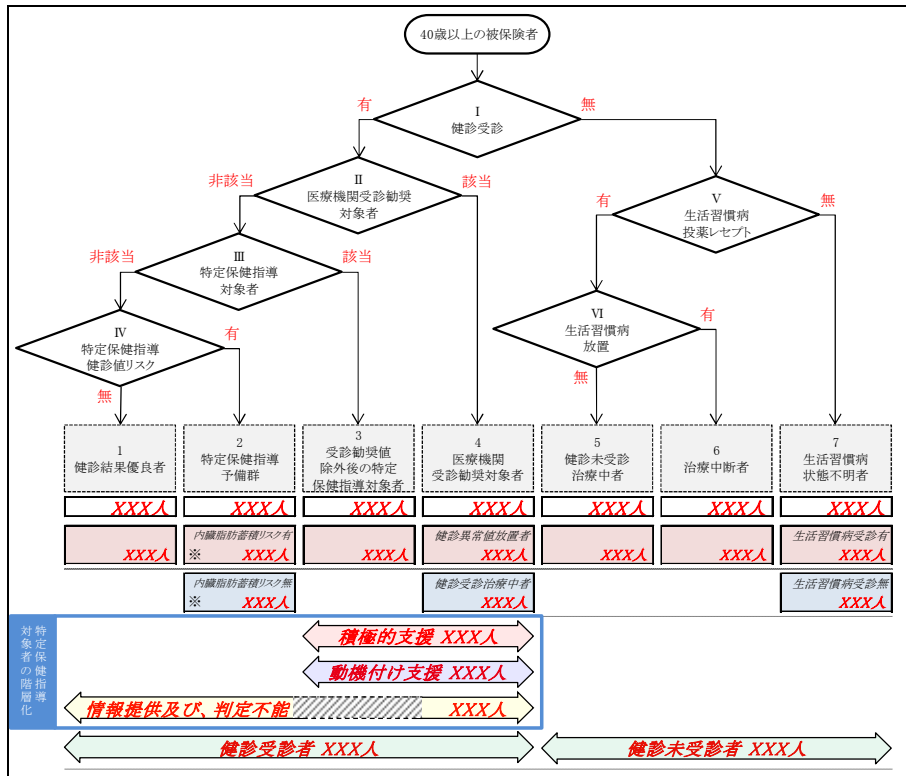
【その他】疾病中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	16,029,157	312	34.3
2	0901	高血圧性疾患	8,513,339	291	32.0
3	1113	その他の消化器系の疾患	24,958,456	289	31.8
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,683,465	243	26.7
5	1202	皮膚炎及び湿疹	2,744,599	233	25.6
6	0606	その他の神経系の疾患	23,600,690	215	23.7
7	0403	脂質異常症	6,041,375	197	21.7
8	0703	屈折及び調節の障害	653,553	191	21.0
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,728,176	183	20.1
10	1006	アレルギー性鼻炎	2,392,283	177	19.5

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健診及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 … 健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 … 健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 … 厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク … 厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 … 生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 … 過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病投薬治療をしていない者 … 生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

	用語	説明
ア 行	印旛管内	八街市、印西市、栄町、佐倉市、酒々井町、白井市、富里市、成田市、四街道市の7市2町で構成されている。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高額レセプト	5万点(50万円)以上のレセプトを指す。これ以外は、その他レセプトと示している。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
	国保加入率	人口に占める国民健康保険加入者の構成比。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	主要傷病名	本文記載の通り。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	診療点数	診断・治療行為毎に国が定めた点数を、レセプト毎に合算したもの。
	生活習慣病	本文記載に、主な病名(高血圧症、糖尿病、脂質異常症、脳血管疾患、心疾患等)。
	積極的支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。

	用語	説明
タ 行	第1号保険者（介護保険）	65歳以上が対象で、介護保険の保険料負担と介護給付の両方の対象となっている。
	第2号保険者（介護保険）	40歳から64歳が対象で、介護保険の保険料を負担するが、例外を除いて介護給付は受けられない。
	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1:国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
	有病率	人口に対する治療中患者の割合。治療中かどうかはレセプトで判定している。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。傷病名や診断・治療内容が記載されており、患者の窓口負担計算の根拠としても使われている。1カ月単位で医療機関や薬局毎に作成されるため、1人の患者が同一月に複数の医療機関を受診した場合は、医療機関の数の分のレセプトが作成される。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

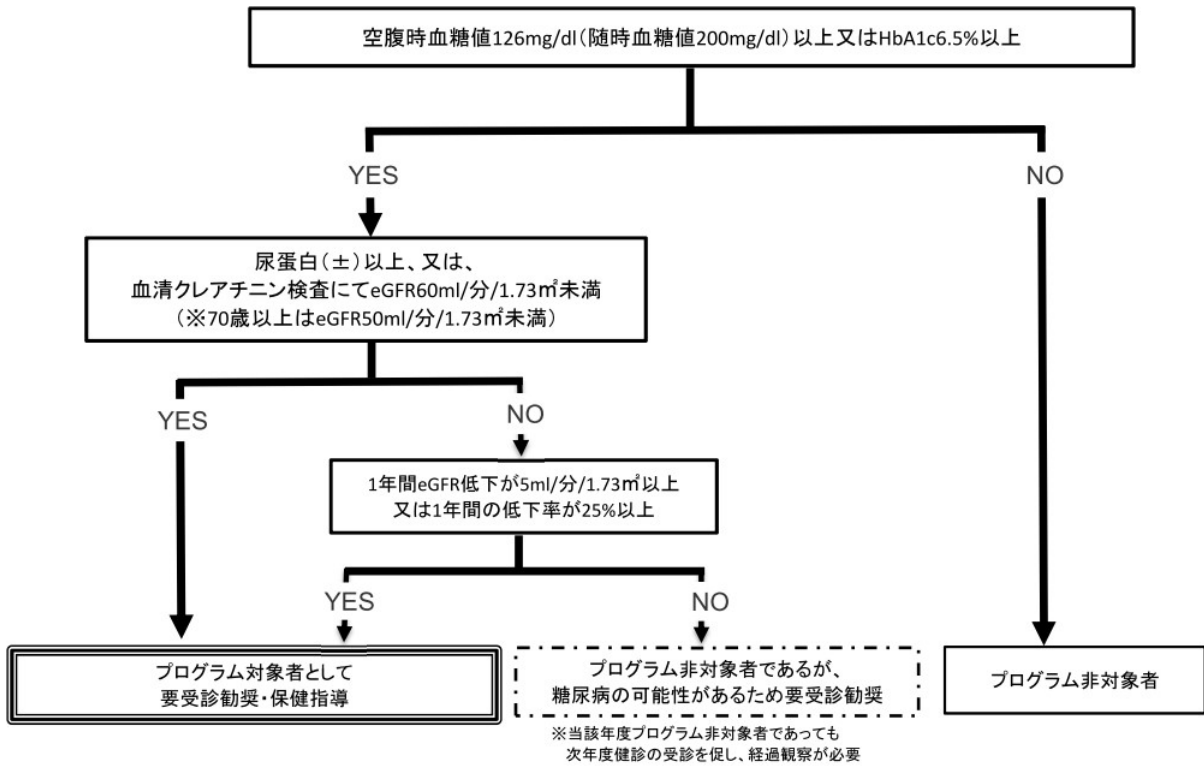
コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性陰炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性陰炎	陰炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

4. 糖尿病性腎症・CKD重症化予防 対象者抽出フロー図

※フロー図1

糖尿病の診断を受けたことがない健診受診者の場合の対象者抽出フロー図
(保険者が健診データから抽出)

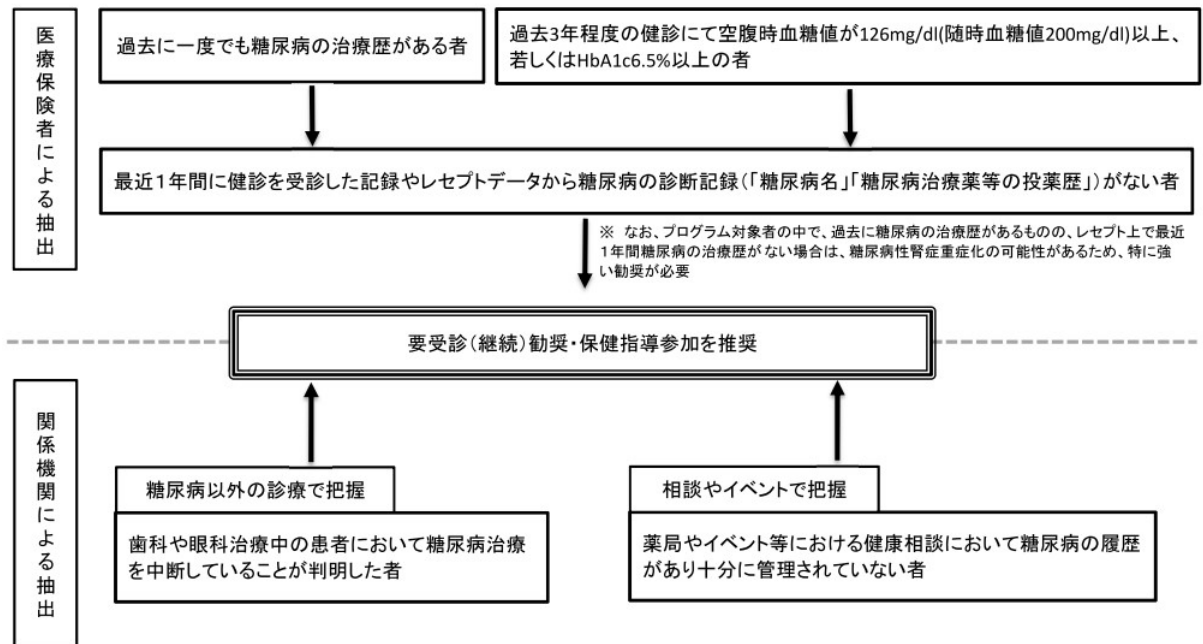


※ なお、プログラム対象者の中で、過去に糖尿病の治療歴があるものの、レセプト上で最近1年間糖尿病の治療歴がない場合は、糖尿病性腎症重症化の可能性があるので、特に強い勧奨が必要である。

千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム(令和2年度改定)

※フロー図2

糖尿病の治療中断者、又は未治療者抽出フロー図(保険者及び関係機関が抽出)



千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム(令和2年度改定)